

令和5年度

富山県立高等学校
入学者選抜実施要領

富山県教育委員会

目 次

令和 5 年度富山県立高等学校入学者選抜実施要領

全日制の課程一般入学者選抜	P 1
全日制の課程推薦入学者選抜	P 4
全日制の課程第 2 次選抜	P 6
全日制の課程普通科通学区域外からの志願者の取り扱い	P 7
全日制の課程県外及び海外からの志願者の取り扱い	P 7
全日制の課程県外及び海外からの志願手続	P 8
定時制の課程(単位制前期)入学者選抜	P 10
定時制の課程(単位制以外)入学者選抜	P 12
定時制の課程(単位制後期)入学者選抜	P 14
通信制の課程入学者選抜	P 15
富山県立中央農業高等学校専攻科入学者選抜	P 16
富山県立富山いずみ高等学校専攻科入学者選抜	P 16
富山県立雄峰高等学校専攻科入学者選抜	P 17
富山県立小矢部園芸高等学校専攻科入学者選抜	P 17
入学志願者調査書及び学習成績等一覧表の記入上の注意	P 18
調査書及び学習成績等一覧表(甲・乙)の様式	P 24
入学志願に関する各書類様式	P 27
学校別入学者選抜実施概要一覧	P 43

(全日制の課程・定時制の課程・通信制の課程・専攻科)

<参考>

令和 5 年度富山県立高等学校第 1 学年募集定員	P 49
(全日制の課程・定時制の課程・通信制の課程・専攻科)	
令和 5 年度富山県立高等学校全日制の課程普通科通学区域	P 52
令和 5 年度富山県立高等学校入学者選抜日程	P 53

令和5年度富山県立高等学校入学者選抜実施要領

全日制の課程一般入学者選抜

1 募集定員

各高等学校の募集定員は別に示す。

2 志願資格

次の(1)～(3)のいずれかに該当する者であって、現在、高等学校、中等教育学校の後期課程、特別支援学校高等部又は高等専門学校の内いずれにも在籍していない者

- (1) 中学校又はこれに準ずる学校を令和5年3月に卒業する見込みの者
- (2) 中学校又はこれに準ずる学校を卒業した者
- (3) 中学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者

3 志願期間

令和5年2月22日(水)から同月27日(月)までの間(日曜日、土曜日及び祝日を除く。)、毎日午前9時から午後4時までとする。ただし、2月27日(月)は正午までとする。

なお、郵送による出願の場合は書留速達とし、2月24日(金)正午までの消印のあるものに限り受け付ける。また、別途、出願書類郵送連絡票(様式29)により、その旨を志願先高等学校長に連絡する。

4 志願の方法

(1) 志願は、富山県立高等学校通学区域設定規則に定める通学区域内の1校1学科に限る。ただし、工業又は商業に関する学科を志願する者は、同一校のそれぞれの学科内に限り、第2順位まで志願することができる。

なお、第2順位を志願する場合は2つ以上にわたることができる。

(2) 富山高等学校、富山中部高等学校、高岡高等学校の普通科又は理数科学科・人文社会科学科を志願する者は、同一校の理数科学科・人文社会科学科又は普通科に限り、第2順位まで志願することができる。この場合において、普通科を第2順位志願できるのは普通科の通学区域内の者に限る。また、南砺福野高等学校普通科又は国際科を志願する者は、同校の国際科又は普通科に限り、第2順位まで志願することができる。

(3) 県外及び海外からの志願者並びに普通科通学区域外からの志願者の取り扱いについては、別に定める。

(4) 志願者は、所定の一般入学願書(様式1)に2,200円の入学考査手数料(一般入学願書に富山県収入証紙を貼り、消印をしない。)を添え、出身の中学校又はこれに準ずる学校の校長(以下「中学校長等」という。)に提出する。中学校長等は、これに本人の調査書を添えて、志願先高等学校長に提出する。

なお、下表に定める学校、学科・コースを志願する者は、志願先高等学校長の定める提出書類等を添える。

学 校	学 科 ・ コ ー ス	提 出 書 類 等
富山北部 高等学校	普通科・体育コース	実技検査選択種目届出書
呉 羽 高等学校	普通科・音楽コース	受検曲票、楽譜

(5) 下表に定める高等学校の普通科のコースを志願する者は、一般入学願書の第1順位の欄に、学科名及びコース名を記入し、第2順位の欄を空欄とする。

富山東 高等学校	自然科学コース	富山北部 高等学校	体 育コース
呉 羽 高等学校	音 楽コース		

(6) 志願者は、視力、聴力、肢体状況、疾病等と関わって、受検に際して特に配慮を必要とする場合、出願前に中学校長等に連絡する。中学校長等は、配慮を必要とする者の志願に当たり、出願前に志願先高等学校長に連絡し、出願時には一般入学願書に受検上の配慮申請書(様式26)を添えて提出する。

配慮内容は、志願先高等学校長が富山県教育委員会と協議のうえで決定する。

(7) 中学校等の第2学年、第3学年のいずれか又は両方で、年間の欠席日数が30日程度以上ある者で、自己申告書の提出を希望する者は、一般入学願書に自己申告書(様式27)を添えて、中学校長等を経て志願先高等学校長に提出することができる。

(8) 中学校等には、校長を委員長とする選抜資料作成委員会を設ける。

(9) 中学校長等は、志願者の志願学科や志願校の選定に当たって、本人の能力・適性等に応じて適切な進路指導を行う。

(10) 中学校長等は、志願者の一般入学願書等を提出する際に、一般入学志願者名簿(様式2)を2部作成して添付する。高等学校長は、このうち1部を押印のうえ、受領証として中学校長等に返却する。

(11) 中学校長等は、学習成績等一覧表を令和5年1月17日(火)までに、各教育事務所を経て、富山県教育委員会に3部提出する。

(12) 帰国生徒としての志願に当たっては、一般入学願書に海外在住状況等説明書(様式3)を添えて、志願先高等学校長に提出する。

なお、ここでいう帰国生徒とは、海外における在学期間が継続して2年以上の者で、志願時において帰国後3年以内の者等をいう。

- (13) 外国人特別措置の適用を希望する外国籍を有する者は、一般入学願書に外国人特別措置適用申請書(様式28)を添えて、出身中学校長等を通じて、志願先高等学校長に提出することができる。

なお、外国人特別措置の適用対象者は、志願時において入国後6年以内の外国籍を有する者とする。

5 受検票の交付

高等学校長は、志願者に受検票を交付する。交付の日時は、各高等学校長が定めるものとする。

6 学力検査

- (1) 学力検査は、県下一斉に実施する。
 (2) 検査教科は、国語、社会、数学、理科及び英語(聞き取りテストを含む。)の5教科とし、各教科の配点は40点とする。

なお、英語聞き取りテストが中止となった場合、当該校では聞き取りテスト部分を除いて40点に換算する。

- (3) 検査問題は、富山県教育委員会教育長の委嘱する検査問題作成委員会が作成する。
 (4) 志願者は、志願した高等学校で学力検査を受けなければならない。
 (5) 検査日は、令和5年3月8日(水)、3月9日(木)の2日間で、下に示す日程によって行う。ただし、自然災害や公共交通機関の遅延、その他の特別な事情により、この日程で実施することが困難な場合、高等学校長は、富山県教育委員会と協議して検査の開始及び終了の時刻等を変更することができる。

第 1 日 3月8日(水)	9:30までにおいて 各高等学校長が定める時間	9:30 ~ 10:20		10:40~11:30	11:50~12:40
	出席調査及び諸準備	社 会		国 語	理 科
第 2 日 3月9日(木)	9:30までにおいて 各高等学校長が定める時間	9:30~9:45 ※	10:00~10:40	11:00~11:50	
	出席調査及び諸準備	聞き取り	筆 記	数 学	
		英 語			

※ 英語聞き取りテストについては、9:30から9:45までの間に10分間程度で実施する。

- (6) 外国人特別措置は、学力検査問題の漢字にふりがなを付すこととする。ただし、設問の都合上、ふりがなを付さない場合がある。
 (7) 受検者の携行しなければならないものは、筆記用具、コンパス、定規(三角定規又は直線定規)、その他志願先高等学校長から指示されたものとする。
 (8) 各検査会場における検査の実施・採点など、検査の管理は高等学校長がこれに当たる。

7 選抜の方法

- (1) 高等学校長は、入学志願者について中学校長等から提出された調査書等の資料、学力検査の成績等に基づいて、各高等学校の当該学科の教育を受けるに足る能力・適性等を判定して選抜する。
 (2) 高等学校長は、入学者選抜のため、校長を委員長とする選抜委員会を設ける。
 (3) 高等学校長は、選抜に当たって、次のア、イ、ウにより、調査書評定点を150点満点で算出する。
 ア 学習の記録における2年次の各教科の評定による評定点 (45点満点)
 イ 学習の記録における3年次の各教科の評定それぞれに2を乗じたものによる評定点 (90点満点)
 ウ 特別活動等、学習の記録以外の記載事項を換算したものによる評定点 (15点満点)
 (4) 高等学校長は、選抜に当たって、調査書評定点と学力検査の成績とを対比し、同等に扱い、判定することを原則とする。ただし、調査書評定点又は学力検査の成績が、募集定員(推薦入学者選抜において合格内定の通知を受けた者の数を除いた数)の上位10%以内にある場合は、調査書評定点又は学力検査の成績の一方により、判定することができるものとする。
 (5) 高等学校長は、選抜に当たって、富山県教育委員会の承認を得て、専門学科及び普通科に設置されているコースの特色に応じて、調査書や学力検査の教科の配点の比重を変えることができる。
 (6) 高等学校長は、選抜に当たって、「学習の記録」の評定及び「特別活動」の評価を除く調査書中の他の記録についても審査する。
 (7) 高等学校長は、選抜に当たって、調査書に理解が困難な事項があった場合には、該当の中学校長等に説明を求めることができる。また、富山県教育委員会に照会することができる。
 (8) 高等学校長は、富山県教育委員会の承認を得て、各高等学校又は各高等学校の学科及びコースごとに、志願者に対し、面接や専門に関する実技検査等を行い、その結果を選抜の資料に加えることができる。
 (9) 高等学校長は、選抜に当たって、第1順位志願者を尊重するが、その学科における総合判定による順位の低位者よりも優れていると判定された第2順位志願者を合格させることができる。
 (10) 高等学校長は、上記(3)~(9)に基づき、総合的に判定して合格者を決定する。
 (11) 高等学校長は、入学が適当と認められる者の数が募集定員に満たない場合には、富山県教育委員会と協議の

うえ、合格者数を募集定員内にとどめることができる。

- (12) 帰国生徒の選抜に当たっては、高等学校長は、面接を実施し、その結果及び海外での経験等を十分考慮して行うものとする。

8 追検査

- (1) 次のア、イのいずれかに該当し、学力検査の第1日、第2日の両日の全日程又は第2日の全日程を欠席した者のうち、下記(2)又は(3)の手続を行ったうえ志願先高等学校長からの許可を得た者は、追検査を受検することができる。

ア インフルエンザ罹患等により別室における受検も困難な者

イ やむを得ない理由のある者

- (2) 追検査の受検を希望する者は、その旨を欠席した当日の正午までに、中学校長等を経て志願先高等学校長に連絡するとともに、欠席理由を証明する書類を添えた追検査受検申請書（様式31）を令和5年3月10日（金）午後3時まで、中学校長等を経て志願先高等学校長に提出する。

- (3) 県外及び海外からの志願者で追検査の受検を希望する者は、その旨を欠席した当日の正午までに、志願先高等学校長に直接連絡するとともに、欠席理由を証明する書類を添えた追検査受検申請書（県外及び海外からの志願者用）を所定の日時までに、志願先高等学校長に直接提出する。

- (4) 追検査は志願先高等学校において、令和5年3月13日（月）に、下に示す日程によって行う。

9:30までにおいて各高等学校長が定める時間	9:30～10:20	10:40～11:30	11:50～12:40	12:40～13:40の間において各高等学校長が定める時間	13:40～13:55 ※	14:10～14:50	15:10～16:00
出席調査及び諸準備	社会	国語	理科	出席調査及び諸準備	聞き取り	筆記	数学
					英語		

※ 英語聞き取りテストについては、13:40から13:55までの間に10分間程度で実施する。

- (5) その他、上記5、6、7を準用する。

9 合格者の発表

令和5年3月16日（木）午後0時30分に、各志願先高等学校において受検番号で行う。

10 その他

- (1) 高等学校長は、志願期間中、学科別の志願者数を毎日午後2時現在で発表掲示する。
- (2) 中学校長等は、学力検査を欠席する入学志願者の氏名等を、欠席者連絡票（様式30）等により、志願先高等学校長に連絡する。
- (3) 高等学校長は、検査時において、カンニングをすることや他の受検者の迷惑となる行為をすること、検査監督者の指示に従わないことなどの不正行為を行った者に対しては、入学を許可しないものとする。
- (4) ここに定めるもののほか、一般入学者選抜に関し必要な事項及び特別な事態が生じた場合の措置は、富山県教育委員会教育長がこれを定める。

全日制の課程推薦入学者選抜

1 対象学科及び募集人員

- (1) 全日制の課程の普通科に設置されている各コース、専門学科及び総合学科において、推薦入学を実施する。各高等学校の募集人員は別に示す。
- (2) 推薦入学による募集人員は、富山県教育委員会と協議のうえ、下記の範囲内で、各高等学校長が定める。
 - ・普通科に設置されている各コース<学級定員の50%以内>
(ただし、呉羽高等学校普通科音楽コース、富山北部高等学校普通科体育コースは60%以内)
 - ・国際科及び国際交流科<募集定員の40%以内>
 - ・専門学科(国際科及び国際交流科を除く。)<募集定員の50%以内>
 - ・総合学科<募集定員の40%以内>ただし、募集人員が上記範囲の上限に達していない場合は、各高等学校長の判断で募集人員に「程度」と表記することができる。
- (3) 推薦入学を実施する学校は、富山県教育委員会と協議のうえ、学科及びコースの特色に応じて、2の志願資格(4)におけるa、b、c、dの各項目別に募集人員等を明示することができる。

2 志願資格

中学校又はこれに準ずる学校を令和5年3月に卒業する見込みの者で、次の(1)~(4)の条件を満たし、中学校長等の推薦を得た者で、合格内定となった場合は、当該高等学校への入学を確約できる者とする。

- (1) 当該学校、学科、コースを志望する動機が明白であり、目的意識を有すること。
- (2) 当該学校、学科、コースに関する興味・関心があり、適性を有すること。
- (3) 当該学校、学科、コースにおける各教科・科目の履修に必要な学力を有し、人物が優れていること。
- (4) 次のa、b、c、dいずれかに該当し、入学後の諸活動に成果が期待される者であること。
 - a 調査書の「学習の記録」が優良であること。
 - b 専門に関する優れた能力又は実績があること。
 - c 芸術、文化、体育のいずれかの分野において優れた能力又は実績があること。
 - d 生徒会活動、社会奉仕活動等学校内外における自発的な活動に継続して積極的に取り組んだ実績があること。

3 志願期間

令和5年2月3日(金)から同月7日(火)までの間(日曜日及び土曜日を除く。)、毎日午前9時から午後4時までとする。ただし、2月7日(火)は正午までとする。

なお、郵送による出願の場合は書留速達とし、2月6日(月)正午までの消印のあるものに限り受け付ける。また、別途、出願書類郵送連絡票(様式29)により、その旨を志願先高等学校長に連絡する。

4 志願の方法

- (1) 志願は、対象学科、コースのうち1校1学科又は1コースに限る。
- (2) 県外及び海外からの志願者の取り扱いについては、別に定める。
- (3) 志願者は、所定の推薦入学願書(様式4)に2,200円の入学考査手数料(推薦入学願書に富山県収入証紙を貼り、消印をしない。)を添え、中学校長等に提出する。中学校長等は、これに本人の調査書及び推薦書(様式5)を添えて、志願先高等学校長に提出する。

なお、下表に定める学校、学科・コースを志願する者は、志願先高等学校長の定める提出書類等を添える。

学 校	学 科 ・ コ ー ス	提 出 書 類 等
富山北部 高等学校	普通科・体育コース	運動競技実績報告書 実技検査選択種目届出書
呉 羽 高等学校	普通科・音楽コース	受検曲票、楽譜

- (4) 志願者は、視力、聴力、肢体状況、疾病等と関わって、受検に際して特に配慮を必要とする場合、出願前に中学校長等に連絡する。中学校長等は、配慮を必要とする者の志願に当たり、出願前に志願先高等学校長に連絡し、出願時には推薦入学願書に受検上の配慮申請書(様式26)を添えて提出する。

配慮内容は、志願先高等学校長が富山県教育委員会と協議のうえで決定する。

- (5) 中学校等には、校長を委員長とする推薦委員会を設ける。推薦委員会は、推薦入学に関する事項を取り扱い、被推薦者の決定は校長が行う。

- (6) 中学校長等は、志願者の推薦入学願書等を提出する際に、推薦入学志願者名簿（様式6）を2部作成して添付する。高等学校長は、このうち1部を押印のうえ、受領証として中学校長等に返却する。
- (7) 中学校長等は、学習成績等一覧表（乙）の備考欄に、推薦入学志願者の志願先高等学校名及び学科・コース名を記入し（例＝〇〇高校△△科□□コース）、令和5年2月8日（水）までに、各教育事務所を経て、富山県教育委員会に1部提出する。

5 受検票の交付

高等学校長は、志願者に受検票を交付する。交付の日時は、各高等学校長が定めるものとする。

6 選抜の方法

- (1) 推薦入学志願者については、面接を実施し、学力検査を行わない。
- (2) 高等学校長は、特に必要と認める場合は、志願者に作文、専門に関する実技検査等を課することができる。
- (3) 高等学校長は、中学校長等から提出された調査書、推薦書等の書類並びに面接等の結果を資料として総合的に判定し、合格内定者を決定する。その際、募集人員に「程度」の表記のある高等学校の校長は、「全日制の課程推薦入学選抜」の1の(2)で定められた範囲の上限を超えないことを条件として、募集人員を2名まで超えて合格内定者を決めることができる。
- (4) 面接等は、令和5年2月13日（月）午前9時から、志願先高等学校において、当該高等学校長が定める日程によって行う。
- (5) 志願者の携行しなければならないものは、受検票、その他志願先高等学校長から指示されたものとする。
- (6) 高等学校長は、入学選抜のため、校長を委員長とする選抜委員会を設ける。
- (7) 高等学校長は、選抜に当たって、調査書、推薦書等に理解が困難な事項があった場合には、該当の中学校長等に説明を求めることができる。また、富山県教育委員会に照会することができる。

7 合格者の発表

- (1) 合格内定の通知
 - ア 高等学校長は、推薦入学選考結果通知書（様式7）を令和5年2月15日（水）の午前10時から正午までの間に投函し、郵送することにより、選考結果を中学校長等に通知する。
なお、合格内定者には、中学校長等を通じて合格内定通知書（様式8）を交付する。
 - イ 合格内定の通知を受けた者は、他の公立高等学校を志願することができない。

- (2) 合格者の発表

合格内定の通知を受けた者について、令和5年3月16日（木）午後0時30分に、各志願先高等学校において受検番号で行う。

8 合格内定とならなかった者の扱い

- (1) 推薦入学に志願し、合格内定とならなかった者は、「令和5年度富山県立高等学校入学募集要項」及び本実施要領に定める各課程の選抜についての手続により、改めて志願することができる。その際、志願先高等学校が全日制の課程の場合は、入学考査手数料が免除される。ただし、出願に当たっては、入学考査手数料減免申請書（様式9）と入学考査手数料納入済証明書（様式10）を一般入学願書（様式1）に添付するものとする。高等学校長は、申請書の内容に誤りがないと認めた者に対し、入学考査手数料減免通知書（様式11）を交付する。
- (2) 改めて志願する場合にも、一般入学願書に調査書を添えて提出するものとする。

9 その他

- (1) 高等学校長は、志願期間中、学科別の志願者数を毎日午後2時現在で発表掲示する。
- (2) 富山県教育委員会は、令和5年2月15日（水）に合格内定の通知を受けた者の数を発表する。
- (3) 中学校長等は、面接等を欠席する入学志願者の氏名等を、欠席者連絡票（様式30）等により、志願先高等学校長に連絡する。
- (4) 高等学校長は、検査時において、カンニングをすることや他の受検者の迷惑となる行為をすること、検査監督者の指示に従わないことなどの不正行為を行った者に対しては、入学を許可しないものとする。
- (5) ここに定めるもののほか、推薦入学選抜に関し必要な事項及び特別な事態が生じた場合の措置は、富山県教育委員会教育長がこれを定める。

全日制の課程第2次選抜

1 第2次選抜実施校の決定

富山県教育委員会は、全日制の課程一般入学者選抜（以下「第1次選抜」という。）及び推薦入学者選抜の合格者の発表（令和5年3月16日（木））の後、同日に第2次選抜を行う学校、学科及び募集定員を決定し、発表する。

2 志願資格

志願できる者は、「全日制の課程一般入学者選抜」に基づいて志願し、5教科の学力検査を受検した者に限る。ただし、既に合格が決定した者は志願することができない。

3 志願期間

令和5年3月17日（金）及び同月20日（月）の両日とし、両日とも午前9時から午後4時までとする。

なお、郵送による出願の場合は書留速達とし、3月20日（月）午後4時までに志願校に必着とする。また、別途、出願書類郵送連絡票（様式29）により、その旨を志願先高等学校長に連絡する。県外及び海外からの志願者は4の志願の方法(4)に従うものとする。

4 志願の方法

(1) 志願者は、所定の第2次選抜申請書（様式12）を、出身中学校長等を経て、第2次選抜志願先高等学校長に提出する。

(2) 志願は、富山県立高等学校通学区設定規則に定める通学区内の1校1学科に限る。ただし、第2順位志願については、第1次選抜に準ずる。また、第1次選抜で志願した高等学校の同一学科を志願することはできない。

(3) 志願に際して、中学校長等は、第2次選抜志願先高等学校長に、第2次選抜志願者名簿（様式13）を2部作成して添付する。第2次選抜志願先高等学校長は、これらに受付番号を付し、このうち1部を押印のうえ、受領証として中学校長等に返却する。この受付番号を受検番号とする。

また、中学校長等は、令和5年3月20日（月）午後4時までに、第1次選抜志願先高等学校長に、第2次選抜志願者名簿（様式14）を2部作成して提出する。第1次選抜志願先高等学校長は、このうち1部を押印のうえ、受領証として中学校長等に返却する。

(4) 県外及び海外からの志願者で第2次選抜に志願する者は、所定の日時までに、第2次選抜志願先高等学校長に第2次選抜申請書（様式12）を、第1次選抜志願先高等学校長に第2次選抜志願についての申請書（様式15）をそれぞれ直接提出する。

(5) 第1次選抜志願先高等学校長は、中学校長等から提出された第2次選抜志願者名簿（様式14）並びに県外及び海外からの志願者から提出された第2次選抜志願についての申請書（様式15）に基づき、当該志願者の学力検査成績証明書（様式16）を作成して調査書の裏面に貼付し、富山県教育委員会の指示する日時に、送付状（様式17）2部を添えて、第2次選抜志願先高等学校長に提出する。第2次選抜志願先高等学校長は、送付状1部を押印のうえ、受領証として第1次選抜志願先高等学校長に返却する。

5 学力検査

学力検査は、実施しない。

6 選抜の方法

(1) 第2次選抜志願先高等学校長は、第1次選抜志願先高等学校長から提出を受けた学力検査の成績と調査書等によって選抜する。

(2) 上記(1)のほか、「全日制の課程一般入学者選抜」の7を準用する。

7 合格者の発表

令和5年3月23日（木）午後0時30分に、各志願先高等学校において受検番号で行う。

8 その他

第2次選抜合格者で、第1次選抜に志願した高等学校において補欠入学を認められた者は、第1次選抜志願先高等学校への入学を優先させる。

全日制の課程普通科通学区域外からの志願者の取り扱い

1 志願資格

本人及び保護者が近く当該通学区域に居住することが確実な者又はその他特別な事情がある者に限り、区域外高等学校へ志願することができる。

2 志願許可の手続

(1) 次の書類を富山県教育委員会県立学校課に提出しなければならない。

ア 富山県立高等学校通学区域外入学志願特別事情申請書（様式18）

イ 本人及び保護者が近く他の通学区域に居住する場合は、その通学区域に近く居住することを証明する資料

ウ その他特別な事情がある場合には、その事情を証明する資料

(2) 受付期間

推薦入学者選抜志願の場合は、令和5年1月13日(金)から同月20日(金)までの間(日曜日及び土曜日を除く。)、毎日午前9時から午後4時までとする。ただし、1月20日(金)は正午までとする。

一般入学者選抜志願の場合は、令和5年1月13日(金)から同年2月21日(火)までの間(日曜日、土曜日及び祝日を除く。)、毎日午前9時から午後4時までとする。ただし、2月21日(火)は正午までとする。

3 志願許可書の交付

富山県教育委員会は、審査の結果、その理由が適当と認めた者に対して、区域外志願許可書（様式19）を交付する。区域外志願許可書の交付を受けた志願者は、入学願書に区域外志願許可書を添付して、出身中学校長等を経て、志願先高等学校長に提出する。

全日制の課程県外及び海外からの志願者の取り扱い

1 志願資格

推薦入学者選抜は、「全日制の課程推薦入学者選抜」の2を満たし、次の(1)～(4)の条件のいずれかに該当する者。一般入学者選抜は、県外及び海外の中学校又はこれに準ずる学校を、令和5年3月までに卒業する見込みの者又は卒業した者で、次の(1)～(4)の条件のいずれかに該当する者

(1) 本人及びその保護者が本県内に居住していること。

(2) 本人及びその保護者が近く本県内に居住することが確実であること。

(3) 隣接県に居住する者で、地形、交通等の関係上、その県の高等学校に通学することが困難であること。

(4) その他特別な事情があること。

2 志願許可の手続

(1) 次の書類を富山県教育委員会県立学校課に提出しなければならない。

ア 富山県立高等学校入学志願特別事情申請書（様式20）

イ 志願資格(1)～(4)の事項を証明する資料（保護者の住民票の写し又は保護者の本県への転勤等に関する所属長の証明書類など）

(2) 受付期間

推薦入学者選抜志願の場合は、令和5年1月13日(金)から同年2月2日(木)までの間(日曜日及び土曜日を除く。)、毎日午前9時から午後4時までとする。ただし、2月2日(木)は正午までとする。

一般入学者選抜志願の場合は、令和5年1月13日(金)から同年2月21日(火)までの間(日曜日、土曜日及び祝日を除く。)、毎日午前9時から午後4時までとする。ただし、2月21日(火)は正午までとする。

なお、これらの期間内において志願許可の手続ができなかった者については、その事情を調査した結果、やむを得ないと認めた場合に限り、受理することがある。

(3) 志願手続等については別に示す。

3 志願許可書の交付及び学習成績等一覧表の提出

富山県教育委員会は、提出された書類を審査し、理由が適当と認めた者に対して、県外・海外志願許可書（様式21）を交付する。

なお、県外・海外志願許可書の交付を受けた者の出身中学校長等は、所定の学習成績等一覧表、もしくは、これに代わる各都道府県所定のものを2部作成し、推薦入学者選抜志願の場合は1部を令和5年2月6日(月)正午までに、一般入学者選抜志願の場合は1部を令和5年2月24日(金)正午までに、富山県教育委員会県立学校課長あてに、親展書留にて提出し、1部を出願時に入学願書等に添えて、志願先高等学校長に提出する。

県外・海外志願許可書の交付を受けた者は、入学願書に県外・海外志願許可書を添付して、出身中学校長等を経て、志願先高等学校長に提出する。郵送のものについては、書留速達とし、推薦入学者選抜志願の場合は2月6日(月)正午までの、一般入学者選抜志願の場合は2月24日(金)正午までの消印のあるものに限り、受け付ける。また、別途、出願書類郵送連絡票(様式29)により、その旨を志願先高等学校長に連絡する。

全日制の課程県外及び海外からの志願手続

1	特別事情申請書の記入 (志願者)	本県所定の特別事情申請書(様式20) 志願資格(1)~(4)の事項を証明する書類の準備 (「転勤等証明書」=保護者の転勤に関する所属長の証明)	志願者が準備する。
2	特別事情の証明(1) (出身中学校長等)	特別事情申請書、転勤等証明書の提出	出身中学校長等に提出し、証明を受ける。
3	特別事情の証明(2) (出身都道府県教育長)	出身中学校長等の証明を受けた特別事情申請書 (志願者が提出した転勤等証明書を添付)	出身都道府県教育委員会に提出し、証明を受ける。
4	特別事情申請書の提出 (志願者)	出身都道府県教育長の証明を受けた特別事情申請書(1部) (志願者が提出した転勤等証明書を添付)	富山県教育委員会県立学校課に提出する。
5	特別事情申請書の審査 (富山県教育委員会)	富山県教育委員会が志願者の提出した特別事情申請書を審査し、本県所定の県外・海外志願許可書(様式21)を交付する。	
6	入学願書の提出(1) (志願者)	富山県教育委員会が交付した県外・海外志願許可書 本県所定の一般入学願書(様式1)	志願者が出身中学校長等に提出する。
7	入学願書の提出(2) (出身中学校長等)	志願者の提出書類(志願許可書、一般入学願書) 本県所定の調査書、一般入学志願者名簿(様式2、2部) 学習成績等一覧表(1部)	出身中学校長等が志願先高等学校長に提出する。
8	学習成績等一覧表の提出 (出身中学校長等)	学習成績等一覧表(1部)	富山県教育委員会県立学校課長に親展書留にて提出する。 なお、学習成績等一覧表の志願者本人の備考欄等に、志願先高等学校・学科を記入すること。
9	志願の確認 (富山県教育委員会)	富山県教育委員会は、志願先高等学校長に志願を確認する。	

1 調査書の記入について

- (1) 本県所定の調査書(P24の様式)を用いること。
- (2) 記入については、「入学志願者調査書及び学習成績等一覧表の記入上の注意」(P18~P20記載)によるが、特に、以下の点に注意すること。
 - ア 学習の記録欄
 - ・評価は出身都道府県で定めている方法に従ってよい。ただし、絶対評価の場合は、特記事項欄にその旨を記入する。また、相対評価の場合は、特記事項欄にその旨を記入し、さらに各都道府県で定めている各学年の評価段階の配分率等を記入する。配分率等が定められていない場合は、その旨を記入する。
 - イ 総合的な学習の時間欄
 - ・観点の欄(「知識・技能」「思考・判断・表現」及び「主体的に学習に取り組む態度」)を斜線で消す。評価の欄は記入しなくてよい。学習活動等の欄に、出身都道府県で定められた記述の仕方に従い、学習活動、観点、生徒の学習状況の顕著な事項等を記載する。
 - ウ 特別活動欄
 - ・評価の欄には、中学校生徒指導要録の3年次の評価を転記する。現在第3学年に在籍中の者については、第3学年第2学期までの評価とする。
 - エ 行動の記録欄
 - ・評価の欄には、中学校生徒指導要録の3年次の評価を転記する。現在第3学年に在籍中の者については、第3学年第2学期までの評価とする。
 - オ 備考欄
 - ・特記すべきことがあれば記述する。

2 学習成績等一覧表の記入及び提出

- (1) 出身中学校長等は、本県所定の学習成績等一覧表甲・乙(P25・P26の様式)、もしくは、これに代わる各都道府県所定のを2部作成し、推薦入学者選抜志願の場合は1部を令和5年2月6日(月)正午までに、一般入学者選抜志願の場合は1部を令和5年2月24日(金)正午までに、富山県教育委員会県立学校課長あてに、親展書留にて提出し、1部を出願時に入学願書等に添えて、志願先高等学校長に提出する。
なお、本県所定のものによる場合の乙表は、当該生徒の所属する学級のものだけでよい。
- (2) 海外から出願する場合は、これに代わる校長の証明書類を提出する。
- (3) 記入については、「入学志願者調査書及び学習成績等一覧表の記入上の注意」(P18~P20記載)を参照すること。

3 その他

- (1) 海外からの志願者のうち、海外における在学期間が継続して2年以上の者については、「全日制の課程一般入学者選抜」4の志願の方法⑫を参照すること。
- (2) その他、本実施要領の各項を参照すること。
- (3) 不明の点があれば、富山県教育委員会県立学校課に問い合わせること。

〒930-8501

富山市新総曲輪1番7号 富山県教育委員会県立学校課高校教育係(電話076-444-3450)

定時制の課程（単位制前期）入学者選抜

1 募集定員

募集は、新川みどり野高等学校、雄峰高等学校、志貴野高等学校、小矢部園芸高等学校及びとなみ野高等学校において行い、各高等学校の募集定員は別に示す。

2 志願資格

次の(1)～(3)のいずれかに該当する者であって、現在、高等学校、中等教育学校の後期課程、特別支援学校高等部又は高等専門学校の内いずれにも在籍していない者

- (1) 中学校又はこれに準ずる学校を令和5年3月に卒業する見込みの者
- (2) 中学校又はこれに準ずる学校を卒業した者
- (3) 中学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者

3 第1次選抜

(1) 志願期間

令和5年2月22日(水)から同月27日(月)までの間（日曜日及び土曜日、祝日を除く。）、毎日午前9時から午後4時までとする。ただし、2月27日(月)は正午までとする。

なお、郵送による出願の場合は書留速達とし、2月24日(金)正午までの消印のあるものに限り受け付ける。また、別途、出願書類郵送連絡票（様式29）により、その旨を志願先高等学校長に連絡する。

(2) 志願の方法

ア 志願は、県内の1校1学科に限る（普通科及び志貴野高等学校の総合ビジネス科については、「昼間単位制Ⅰ部」、「昼間単位制Ⅱ部」、「夜間単位制」をそれぞれ単独の学科とする。）。

イ 他の都道府県の公立高等学校に出願している者又は出願予定のある者は、出願することができない。ただし、特別な事情がある者は、志願期間前に富山県教育委員会の承認を得て、出願することができる。

ウ 全日制の課程と重ねて志願することはできない。

エ 志願者は、所定の入学願書（様式22）に950円の入学考査手数料（入学願書に富山県収入証紙を貼り、消印をしない。）を添え、出身中学校長等に提出する。中学校長等は、これに本人の調査書を添えて、志願先高等学校長に提出する。

なお、高等学校長は、選抜の資料として、上記以外の書類を必要とするときは、富山県教育委員会の承認を得て、志願者及び中学校長等にその書類の提出を求めることができる。

オ 志願者は、視力、聴力、肢体状況、疾病等と関わって、受検に際して特に配慮を必要とする場合、出願前に中学校長等に連絡する。中学校長等は、配慮を必要とする者の志願に当たり、出願前に志願先高等学校長に連絡し、出願時には入学願書に受検上の配慮申請書（様式26）を添えて提出する。

配慮内容は、志願先高等学校長が富山県教育委員会と協議のうえで決定する。

カ 中学校等の第2学年、第3学年のいずれか又は両方で、年間の欠席日数が30日程度以上ある者で、自己申告書の提出を希望する者は、入学願書に自己申告書（様式27）を添えて、中学校長等を経て志願先高等学校長に提出することができる。

キ 外国人特別措置の適用を希望する外国籍を有する者は、入学願書に外国人特別措置適用申請書（様式28）を添えて、出身中学校長等を通じて、志願先高等学校長に提出することができる。

なお、外国人特別措置の適用対象者は、志願時において入国後6年以内の外国籍を有する者とする。

ク 中学校長等は、志願者の入学願書等を提出する際に、定時制の課程入学志願者名簿（様式23）を2部作成して添付する。高等学校長は、このうち1部を押印のうえ、受領証として中学校長等に返却する。

ケ 県外及び海外からの志願者も上記ア～クに基づいて志願する。ただし、調査書については、出身都道府県教育委員会の定める調査書をもって代えることができる。

(3) 検査

ア 検査は、作文及び面接とする。ただし、高等学校長が特に必要と認めた場合は、富山県教育委員会の承認を得て、学力検査を行うことができる。

イ 志願者は、志願した高等学校で検査を受けなければならない。

ウ 検査は、令和5年3月8日(水)に行う。国語と数学のどちらか1教科又は両教科について学力検査を実施する場合は、下に示す日程によって行う。国語と数学以外の教科のみについて学力検査を実施する場合は、志願先高等学校長が定める日程によって行う。

3月8日(水)	9:30 ～ 10:00	10:20 ～ 10:50	学力検査後
	国語又は各高等学校長が定める1教科	数学又は各高等学校長が定める1教科	作文、面接

なお、作文や面接は、志願先高等学校長が定める日程によって行うが、志願先高等学校長の判断で、面接を

令和5年3月9日(木)に行うことができる。

検査で国語と数学のどちらか1教科又は両教科について学力検査を実施する場合において、自然災害や公共交通機関の遅延その他の特別な事情により、上記の日程で実施することが困難なときは、高等学校長は、富山県教育委員会と協議して検査の開始及び終了の時刻等を変更することができる。

エ 外国人特別措置は、学力検査問題の漢字にふりがなを付すこととする。ただし、設問の都合上、ふりがなを付さない場合がある。

オ 受検者の携行しなければならないものは、筆記用具、その他志願先高等学校長から指示されたものとする。

カ 各検査会場における検査の実施・採点など、検査の管理は高等学校長がこれに当たる。

(4) 選抜の方法

高等学校長は、入学志願者について中学校長等から提出された資料、検査成績等に基づき、総合的に判定して合格者を決定する。

(5) 合格者の発表

令和5年3月16日(木)午後0時30分に、各志願先高等学校において受検番号で行う。

4 第2次選抜

(1) 第2次選抜を行う学校、学科及び募集定員等

富山県教育委員会は、第1次選抜合格者の発表後、第2次選抜を行う学校、学科及び募集定員等を決定し、令和5年3月16日(木)に発表する。

(2) 志願期間

令和5年3月17日(金)及び同月20日(月)の両日とし、両日とも午前9時から午後4時までとする。

なお、郵送による出願の場合は書留速達とし、3月20日(月)午後4時までに志願校に必着とする。また、別途、出願書類郵送連絡票(様式29)により、その旨を志願先高等学校長に連絡する。

(3) 志願の方法

ア 全日制の課程第2次選抜の志願資格(P6参照)を有する者は、同選抜と重ねて志願することができる。

イ その他については、上記3の(2)ア、イ、エ、オ、キ、ク、ケの定めに準じて行う。

(4) 検査

令和5年3月23日(木)に行う。国語と数学のどちらか1教科又は両教科について学力検査を実施する場合は、下に示す日程によって行う。国語と数学以外の教科のみについて学力検査を実施する場合は、志願先高等学校長が定める日程によって行う。

3月23日(木)	9:30 ~ 10:00	10:20 ~ 10:50	学力検査後
	国語又は各高等学校長が定める1教科	数学又は各高等学校長が定める1教科	作文、面接

なお、作文や面接は、志願先高等学校長が定める日程によって行う。

(5) 合格者の発表

令和5年3月27日(月)午後0時30分に、各志願先高等学校において受検番号で行う。

(6) その他

上記3の(3)、(4)の定めに準じて行う。

5 その他

(1) 高等学校長は、志願期間中、学科別の志願者数を毎日午後4時現在で発表掲示する。

(2) 中学校長等は、検査を欠席する入学志願者の氏名等を、欠席者連絡票(様式30)等により、志願先高等学校長に連絡する。

(3) 第2次選抜後も必要があれば、再度選抜を実施することができる。その場合、単位制以外の第2次選抜に準じて行う。

(4) 各学校の実施概要については、「定時制の課程 学校別入学者選抜実施概要一覧」(P48記載)に示す。

(5) 高等学校長は、検査時において、カンニングをすることや他の受検者の迷惑となる行為をすること、検査監督者の指示に従わないことなどの不正行為を行った者に対しては、入学を許可しないものとする。

(6) ここに定めるもののほか、定時制の課程(単位制前期)入学者選抜に関し必要な事項及び特別な事態が生じた場合の措置は、富山県教育委員会教育長がこれを定める。

定時制の課程（単位制以外）入学者選抜

1 募集定員

募集は、富山工業高等学校の定時制の課程において行い、募集定員は別に示す。

2 志願資格

次の(1)～(3)のいずれかに該当する者であって、現在、高等学校、中等教育学校の後期課程、特別支援学校高等部又は高等専門学校いずれにも在籍していない者

- (1) 中学校又はこれに準ずる学校を令和5年3月に卒業する見込みの者
- (2) 中学校又はこれに準ずる学校を卒業した者
- (3) 中学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者

3 第1次選抜

(1) 志願期間

令和5年3月17日(金)及び同月20日(月)の両日とし、両日とも午前9時から午後4時までとする。

なお、郵送による出願の場合は書留速達とし、3月20日(月)午後4時までに富山工業高等学校に必着とする。

また、別途、出願書類郵送連絡票(様式29)により、その旨を富山工業高等学校長に連絡する。

(2) 志願の方法

ア 志願は、富山工業高等学校定時制の課程の1学科に限る。ただし、同校の定時制の課程内の他学科を第2順位まで志願することができる。

なお、第2順位を志願する場合は2つ以上にわたることができる。

イ 他の都道府県の公立高等学校に出願している者又は出願予定のある者は、出願することができない。ただし、特別な事情がある者は、志願期間前に富山県教育委員会の承認を得て、出願することができる。

ウ 全日制の課程第2次選抜の志願資格(P6参照)を有する者は、同選抜と重ねて志願することができる。

エ 志願者は、所定の入学願書(様式22)に950円の入学考査手数料(入学願書に富山県収入証紙を貼り、消印をしない。)を添え、出身中学校長等に提出する。中学校長等は、これに本人の調査書を添えて、富山工業高等学校長に提出する。

なお、富山工業高等学校長は、選抜の資料として、上記以外の書類を必要とするときは、富山県教育委員会の承認を得て、志願者及び中学校長等にその書類の提出を求めることができる。

オ 志願者は、視力、聴力、肢体状況、疾病等と関わって、受検に際して特に配慮を必要とする場合、出願前に中学校長等に連絡する。中学校長等は、配慮を必要とする者の志願に当たり、出願前に志願先高等学校長に連絡し、出願時には入学願書に受検上の配慮申請書(様式26)を添えて提出する。

配慮内容は、志願先高等学校長が富山県教育委員会と協議のうえ決定する。

カ 外国人特別措置の適用を希望する外国籍を有する者は、入学願書に外国人特別措置適用申請書(様式28)を添えて、出身中学校長等を通じて、富山工業高等学校長に提出することができる。

なお、外国人特別措置の適用対象者は、志願時において入国後6年以内の外国籍を有する者とする。

キ 中学校長等は、志願者の入学願書等を提出する際に、定時制の課程入学志願者名簿(様式23)を2部作成して添付する。富山工業高等学校長は、このうち1部を押印のうえ、受領証として中学校長等に返却する。

ク 県外及び海外からの志願者も上記ア～キに基づいて志願する。ただし、調査書については、出身都道府県教育委員会の定める調査書をもって代えることができる。

(3) 検査

ア 検査は、作文及び面接とする。ただし、富山工業高等学校長が特に必要と認めた場合は、富山県教育委員会の承認を得て、学力検査を行うことができる。

イ 志願者は、富山工業高等学校で検査を受けなければならない。

ウ 検査は、令和5年3月23日(木)に行う。国語と数学のどちらか1教科又は両教科について学力検査を実施する場合は、下に示す日程によって行う。国語と数学以外の教科のみについて学力検査を実施する場合は、富山工業高等学校長が定める日程によって行う。

3月23日(木)	9:30～10:00	10:20～10:50	学力検査後
	国語又は富山工業高等学校長が定める1教科	数学又は富山工業高等学校長が定める1教科	作文、面接

なお、作文や面接は、富山工業高等学校長が定める日程によって行う。

検査で国語と数学のどちらか1教科又は両教科について学力検査を実施する場合において、自然災害や公共交通機関の遅延その他の特別な事情により、上記の日程で実施することが困難なときは、富山工業高等学校長は、富山県教育委員会と協議して検査の開始及び終了の時刻等を変更することができる。

エ 外国人特別措置は、学力検査問題の漢字にふりがなを付すこととする。ただし、設問の都合上、ふりがなを付さない場合がある。

オ 受検者の携行しなければならないものは、筆記用具、その他富山工業高等学校長から指示されたものとする。

カ 各検査会場における検査の実施・採点など、検査の管理は富山工業高等学校長がこれに当たる。

(4) 選抜の方法

富山工業高等学校長は、入学志願者について中学校長等から提出された資料、検査成績等に基づき、総合的に判定して合格者を決定する。

(5) 合格者の発表

令和5年3月27日(月)午後0時30分に、富山工業高等学校において受検番号で行う。

4 第2次選抜

(1) 富山県教育委員会は、第1次選抜合格者の発表後、第2次選抜を行う学科及び募集定員等を決定し、3月27日(月)に、富山工業高等学校において発表する。

(2) 志願期間は、令和5年3月27日(月)及び同月28日(火)の両日とし、3月27日(月)は午後1時から午後4時まで、3月28日(火)は午前9時から午後4時までとする。

なお、郵送による出願は不可とする。

(3) 検査については、富山工業高等学校長が日程を定め、志願者に通知する。

(4) その他、上記3の(2)、(3)、(4)の定めに準じて行う。

(5) 合格者の発表については、富山工業高等学校長が定める。

5 その他

(1) 富山工業高等学校長は、志願期間中、学科別の志願者数を毎日午後4時現在で発表掲示する。

(2) 中学校長等は、検査を欠席する入学志願者の氏名等を、欠席者連絡票(様式30)等により、志願先高等学校長に連絡する。

(3) 実施概要については、「定時制の課程 学校別入学者選抜実施概要一覧」(P48記載)に示す。

(4) 高等学校長は、検査時において、カンニングをすることや他の受検者の迷惑となる行為をすること、検査監督者の指示に従わないことなどの不正行為を行った者に対しては、入学を許可しないものとする。

(5) ここに定めるもののほか、定時制の課程(単位制以外)入学者選抜に関し必要な事項及び特別な事態が生じた場合の措置は、富山県教育委員会教育長がこれを定める。

定時制の課程入学者選抜の概要

単位制前期 (新川みどり野高等学校 雄峰高等学校 志貴野高等学校 小矢部園芸高等学校 と な み 野 高 等 学 校)	単位制以外 (富山工業高等学校)
【第1次選抜】 志願受付開始 2月22日(水) 午前9時から ※全日制の課程と重ねて志願できない 志願締切 2月27日(月) 正午まで 検査実施 3月8日(水) 3月9日(木) <面接予備日> 合格者の発表 3月16日(木) 午後0時30分	
【第2次選抜】 募集定員等の発表 3月16日(木) 志願受付開始 3月17日(金) 午前9時から ※全日制の課程第2次選抜と重ねて志願できる 志願締切 3月20日(月) 午後4時まで 検査実施 3月23日(木) 合格者の発表 3月27日(月) 午後0時30分	【第1次選抜】 志願受付開始 3月17日(金) 午前9時から ※全日制の課程第2次選抜と重ねて志願できる 志願締切 3月20日(月) 午後4時まで 検査実施 3月23日(木) 合格者の発表 3月27日(月) 午後0時30分
	【第2次選抜】 募集定員等の発表 <富山工業高等学校において発表> 志願受付開始 3月27日(月) 午後1時から 志願締切 3月28日(火) 午後4時まで 検査実施 <富山工業高等学校長が定め、志願者に通知する> 合格者の発表 <富山工業高等学校長が通知する>

定時制の課程（単位制後期）入学者選抜

1 募集人員

募集は、新川みどり野高等学校、雄峰高等学校、志貴野高等学校及びとなみ野高等学校において行い、各高等学校の募集人員は、令和5年5月以降に別途示す。

2 志願資格

次の(1)又は(2)に該当する者であって、現在、高等学校、中等教育学校の後期課程、特別支援学校高等部又は高等専門学校（以下「高等学校等」という。）のいずれにも在籍していない者、及び過去に高等学校等で単位を修得していない者

- (1) 中学校又はこれに準ずる学校を卒業した者
- (2) 中学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者

3 志願期間

令和5年9月1日(金)から同月5日(火)までの間（日曜日及び土曜日を除く。）、毎日午前9時から午後4時までとする。ただし、9月5日(火)は正午までとする。

なお、郵送による出願の場合は書留速達とし、9月4日(月)正午までの消印のあるものに限り受け付ける。また、別途、電話等により、その旨を志願先高等学校長に連絡する。

4 志願の方法

(1) 志願は、県内の1校1学科に限る（普通科及び志貴野高等学校の総合ビジネス科については、「昼間単位制Ⅰ部」、「昼間単位制Ⅱ部」、「夜間単位制」をそれぞれ単独の学科とする。）。

(2) 他の都道府県の公立高等学校に出願している者又は出願予定のある者は、出願することができない。ただし、特別な事情がある者は、志願期間前に富山県教育委員会の承認を得て、出願することができる。

(3) 志願者は、所定の入学願書（様式22）に950円の入学審査手数料（入学願書に富山県収入証紙を貼り、消印をしない。）を添え、志願先高等学校長に提出する。また、志願者は、出身の中学校長等に、調査書発行申請書（様式24）を提出する。中学校長等は、志願者からの申請を受けて、9月5日(火)正午までに、本人の調査書を志願先高等学校長に提出する。

出願及び調査書の提出について、郵送による場合は書留速達とする。また、別途、中学校長等は出願書類郵送連絡票（様式29）により、志願者は電話等により、その旨を志願先高等学校長に連絡する。

なお、高等学校長は、選抜の資料として、上記以外の書類を必要とするときは、富山県教育委員会の承認を得て、志願者及び中学校長等にその書類の提出を求めることができる。

(4) 中学校等の第2学年、第3学年のいずれか又は両方で、年間の欠席日数が30日程度以上ある者で、自己申告書の提出を希望する者は、入学願書に自己申告書（様式27）を添えて、志願先高等学校長に提出することができる。

(5) 県外及び海外からの志願者も上記(1)～(4)に基づいて志願する。ただし、調査書については、出身都道府県教育委員会の定める調査書をもって代えることができる。

5 検査

(1) 検査は、作文及び面接とする。ただし、高等学校長が特に必要と認めた場合は、富山県教育委員会の承認を得て、学力検査を行うことができる。

(2) 志願者は、志願した高等学校で検査を受けなければならない。

(3) 検査は、令和5年9月12日(火)に行う。国語と数学のどちらか1教科又は両教科について学力検査を実施する場合は、下に示す日程によって行う。ただし、自然災害や公共交通機関の遅延その他の特別な事情により、この日程で実施することが困難な場合は、高等学校長は、富山県教育委員会と協議して検査の開始及び終了の時刻等を変更することができる。国語と数学以外の教科のみについて学力検査を実施する場合は、志願先高等学校長が定める日程によって行う。

9月12日(火)	9:30～10:00	10:20～10:50	学力検査後
	国語又は各高等学校長が定める1教科	数学又は各高等学校長が定める1教科	作文、面接

なお、作文や面接は、志願先高等学校長の定める日程によって行う。

(4) 受検者の携行しなければならないものは、筆記用具、その他志願先高等学校長から指示されたものとする。

(5) 各検査会場における検査の実施・採点など、検査の管理は高等学校長がこれに当たる。

6 選抜の方法

高等学校長は、入学志願者について中学校長等から提出された資料、検査成績等に基づき、総合的に判定して合格者を決定する。

7 合格者の発表

令和5年9月14日(木)午後0時30分に、各志願先高等学校において受検番号で行う。

8 その他

(1) 高等学校長は、志願期間中、学科別の志願者数を毎日午後4時現在で発表掲示する。

(2) 各学校の実施概要については、募集人員とともに、令和5年5月以降に別途示す。

(3) 高等学校長は、検査時において、カンニングをすることや他の受検者の迷惑となる行為をすること、検査監督者の指示に従わないことなどの不正行為を行った者に対しては、入学を許可しないものとする。

(4) ここに定めるもののほか、定時制の課程（単位制後期）入学者選抜に関し必要な事項及び特別な事態が生じた場合の措置は、富山県教育委員会教育長がこれを定める。

通信制の課程入学者選抜

1 募集定員

募集定員は別に示す。

2 志願資格

次の(1)～(3)のいずれかに該当する者であって、現在、高等学校、中等教育学校の後期課程、特別支援学校高等部又は高等専門学校の内いずれにも在籍していない者

- (1) 中学校又はこれに準ずる学校を令和5年3月に卒業する見込みの者
- (2) 中学校又はこれに準ずる学校を卒業した者
- (3) 中学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者

3 志願期間

令和5年3月17日(金)及び同月20日(月)の両日とし、両日とも午前9時から午後4時までとする。

なお、郵送による出願の場合は書留速達とし、3月20日(月)午後4時までに雄峰高等学校に必着とする。

4 志願の方法

(1) 他の都道府県の公立高等学校に出願している者又は出願予定のある者は、出願することができない。ただし、特別な事情がある者は、志願期間前に富山県教育委員会の承認を得て、出願することができる。

(2) 志願者は、次の書類を雄峰高等学校長に提出する。

ア 入学願書(様式25)

(入学考査手数料460円の富山県収入証紙を貼り、消印をしない。)

イ 調査書

(ただし、平成29年3月以前の卒業者については、出身中学校等の卒業証明書をもって代えることができる。)

ウ 雄峰高等学校衛生看護科を志願する者は、富山市医師会看護専門学校准看護学科の合格証の写し

(3) 雄峰高等学校長は、選抜の資料として、上記以外の書類を必要とするときは、富山県教育委員会の承認を得て、志願者及び出身中学校長等にその提出を求めることができる。

5 検査

(1) 検査は、面接等とする。

(2) 検査は、令和5年3月23日(木)午前9時から、雄峰高等学校において行う。

6 選抜の方法

雄峰高等学校長は、入学志願者について中学校長等から提出された資料、面接等の結果に基づき、総合的に判定して合格者を決定する。

7 合格者の発表

令和5年3月27日(月)午後0時30分に、雄峰高等学校において受検番号で行う。

8 第2次募集

(1) 上記1、2、4、6の定めに準じて行う。

(2) 志願期間は、令和5年3月27日(月)及び同月28日(火)の両日とし、3月27日(月)は午後1時から午後4時まで、3月28日(火)は午前9時から午後4時までとする。郵送による出願は不可とする。

なお、事情によっては、締切期日後でも受け付けることがある。

(3) 面接等の実施は、雄峰高等学校長が定める日時及び場所において行う。

9 その他

高等学校長は、検査時において、カンニングをすることや他の受検者の迷惑となる行為をすること、検査監督者の指示に従わないことなどの不正行為を行った者に対しては、入学を許可しないものとする。

富山県立中央農業高等学校専攻科入学者選抜

1 募集定員

募集定員は別に示す。

2 志願資格

<担い手育成コース>

高等学校又はこれに準ずる学校を卒業した者又は令和5年3月に卒業する見込みの者で、次の各条件を備えた者

- (1) 本校入学時に、現に農業に従事し、農業経営を発展させようとする意欲、農業に関する知識・技術の向上を目指す意欲のある者
- (2) 出身高等学校長等の推薦を受けた者又は地域農林振興センター所長の推薦を受けた者。ただし法人等で就農を目的とした研修を行う者については地域農林振興センター所長の推薦を受けた者

<庭園コース>

高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者で、庭園管理や野菜・草花の栽培等に興味・関心の高い者

3 志願期間

令和4年12月5日(月)から同月21日(水)までの間(日曜日及び土曜日を除く。)、毎日午前9時から午後4時までとする。ただし、12月21日(水)は正午までとする。

なお、郵送による出願の場合は書留速達とし、12月21日(水)正午までに中央農業高等学校に必着とする。

4 志願の方法

入学志願者は、次の書類を中央農業高等学校長に提出する。

<担い手育成コース>

- (1) 入学願書(学校所定のもの)
(入学考査手数料として2,200円の富山県収入証紙を貼り、消印をしない。)
- (2) 履歴書(学校所定のもの)
- (3) 卒業見込み証明書又は卒業証明書
- (4) 営農状況調査書(学校所定のもの)
- (5) 出身高等学校長等又は地域農林振興センター所長の推薦書(学校所定のもの)

<庭園コース>

- (1) 入学願書(学校所定のもの)
(入学考査手数料として2,200円の富山県収入証紙を貼り、消印をしない。)
- (2) 履歴書(学校所定のもの)

5 選抜の方法

<担い手育成コース>

中央農業高等学校長は、入学志願者について出身高等学校長等から提出された資料及び面接、作文等の結果に基づき、総合的に判定して合格者を決定する。

なお、面接、作文は、中央農業高等学校長が定める日時及び場所において行う。

また、特に必要と認めた場合は、学力検査(農業に関する科目の範囲)を行うことがある。

<庭園コース>

中央農業高等学校長は、入学志願者から提出された資料及び面接、作文、実技(簡易作図)の結果に基づき、総合的に判定して合格者を決定する。

なお、面接、作文及び実技は、中央農業高等学校長が定める日時及び場所において行う。

6 合格者の発表

令和5年1月13日(金)午後0時30分に、中央農業高等学校において受検番号で行う。

7 第2次募集

(1) 第1次募集における合格者が定員に満たない場合にのみ、上記1、2、4、5の定めに準じて第2次募集を実施する。

(2) 第2次募集を実施する場合、志願期間は、令和5年2月20日(月)から3月3日(金)までの間(日曜日、土曜日及び祝日を除く。)、毎日午前9時から午後4時までとする。ただし、3月3日(金)は正午までとする。

なお、郵送による出願の場合は書留速達とし、3月3日(金)正午までに中央農業高等学校に必着とする。

富山県立富山いずみ高等学校専攻科入学者選抜

1 募集定員

募集定員は別に示す。

2 志願資格

富山いずみ高等学校看護科を卒業した者

3 その他

入学者募集の詳細については、富山いずみ高等学校長が別に定める。

富山県立雄峰高等学校専攻科入学者選抜

- 1 募集定員**
募集定員は別に示す。
- 2 志願資格**
 - (1) 高等学校又はこれに準ずる学校を卒業した者又は令和5年3月に卒業する見込みの者
 - (2) 高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者
- 3 志願期間**
令和4年12月19日(月)から同月22日(木)までの間、毎日午前9時から午後4時までとする。
なお、郵送による出願の場合は書留速達とし、12月22日(木)午後4時までに雄峰高等学校に必着とする。
- 4 志願の方法**
 - (1) 入学志願者は、次の書類を雄峰高等学校長に提出する。
 - ア 雄峰高等学校において交付する入学願書
(入学考査手数料として2,200円の富山県収入証紙を貼り、消印をしない。)
 - イ 学業成績証明書(高等学校等調査書又は成績証明書)
 - ウ 上記イで成績証明書を提出した者のみ卒業証明書
 - (2) 午前部・午後部については、第2順位まで志願することができる。
- 5 選抜の方法**
雄峰高等学校長は、入学志願者について出身高等学校長等から提出された資料及び面接等の結果に基づき、総合的に判定して合格者を決定する。
なお、面接は、雄峰高等学校長が定める日時及び場所において行う。
また、雄峰高等学校長は、特に必要と認めた場合は、作文を行うことができる。
- 6 合格者の発表**
令和5年1月13日(金)午後0時30分に、雄峰高等学校において受検番号で行う。
- 7 第2次募集**
 - (1) 第1次募集における合格者が定員に満たない場合にのみ、上記1、2、4、5の定めに準じて第2次募集を実施する。
 - (2) 第2次募集を実施する場合の志願期間は、令和5年2月22日(水)及び同月24日(金)の両日とし、両日とも午前9時から午後4時までとする。

富山県立小矢部園芸高等学校専攻科入学者選抜

- 1 募集定員**
募集定員は別に示す。
- 2 志願資格**
 - (1) 高等学校又はこれに準ずる学校を卒業した者又は令和5年3月に卒業する見込みの者
 - (2) 高等学校を卒業した者と同等以上の学力を持ち、園芸・造園に関する高度な知識、技術の習得を希望する者
- 3 志願期間**
令和5年2月13日(月)から同月16日(木)までの間、毎日午前9時から午後4時までとする。ただし、2月16日(木)は正午までとする。
なお、郵送による出願の場合は書留速達とし、2月15日(水)正午までの消印のあるものに限り受け付ける。
- 4 志願の方法**
入学志願者は、次の書類を小矢部園芸高等学校長に提出する。
 - (1) 小矢部園芸高等学校において交付する入学願書
(入学考査手数料として2,200円の富山県収入証紙を貼り、消印をしない。)
 - (2) 高等学校等卒業見込み証明書又は卒業証明書等
 - (3) 履歴書
- 5 選抜の方法**
小矢部園芸高等学校長は、面接、作文等の結果に基づき、総合的に判定して合格者を決定する。
なお、面接、作文は、令和5年3月10日(金)に小矢部園芸高等学校において行う。
また、小矢部園芸高等学校長は、特に必要と認めた場合は、学力検査(農業に関する科目の範囲)を行うことができる。
- 6 合格者の発表**
令和5年3月16日(木)午後0時30分に、小矢部園芸高等学校において受検番号で行う。

入学志願者調査書及び学習成績等一覧表の記入上の注意

1 調査書作成上の注意

- (1) 調査書は、選抜資料作成委員会の議を経て、厳正公平に作成する。
- (2) 選抜資料作成委員会には、教務主任、進路指導主事、第3学年主任を含むものとする。
- (3) 調査書は、生徒指導要録、学習成績等一覧表並びに最近の資料等に基づいて作成する。
- (4) 調査書等の作成に当たっては、原則として次のような手順をとるものとする。

学習成績等一覧表

選抜資料作成委員会 → 校長 → 富山県教育委員会 → (済印) → 校長

調査書

選抜資料作成委員会基本方針 → 学級担任 → 進路指導主事・教務主任 → 教頭 → 校長

↑
学習成績等一覧表照合

↑
学習成績等一覧表照合

2 調査書記入上の注意（※欄は記入しない。）

(1) 学籍

- ・分校在籍者は分校名を記入する。
- ・卒業の欄の「卒業見込・卒業」については該当するものを○で囲む。
- ・願書の提出が中学校の卒業式後であっても、令和5年3月の卒業者はすべて卒業見込みとする。
(ただし、定時制の課程単位制後期入学者選抜は除く。)

(2) 欠席

- ・現在、在学中の3年の欠席日数は令和5年1月31日(火)現在で記入する。
- ・欠席日数のないときは0と記入する。
- ・各学年において欠席日数が総計10日以上のものについては、その主な理由を必ず記入する。

(3) 総合的な学習の時間

- ・「知識・技能」「思考・判断・表現」及び「主体的に学習に取り組む態度」で評価し、学習状況における顕著な事柄を生徒全員について文章で記述することとし、詳細は次のとおりとする。

ア 評価

- ・評価の欄には、各観点について各学校で定めた目標を十分満足できると判断されるものについて、○印を記載する。記載に当たっては、第3学年の評価を中心に総合的に記載するものとする。

イ 学習活動等

- ・学習活動等の欄には、学習状況における顕著な事柄について、その特徴など、生徒にどのような力が身に付いたかを、生徒全員について文章で記述し、各末尾に該当学年を(3)、(2)、(3)のように書き添える。

(4) 特別活動

ア 評価

- ・学級活動、生徒会活動及び学校行事の3つについて記入する。
- ・評価の観点は、別表1（P21記載）のとおりとする。
- ・評価の欄には、各内容ごとにその趣旨を十分満足できる状況にあると判断されるものについて、○印を記載する。記載に当たっては、第3学年の評価を中心に総合的に記載するものとする。
- ・県外及び海外からの志願者については、評価の欄には中学校生徒指導要録の3年次の評価を転記する。なお、現在第3学年に在籍中の者については、第3学年第2学期までの評価とする。

イ 特記事項

- ・学級活動、生徒会活動及び学校行事について、所属、役員又は顕著な活動など、3年間の主なものを記入し、各末尾に該当学年を(1)、(1、2)のように書き添える。

- (5) 部活動等
- ・部活動については、その所属、役員又は顕著な活動や実績など、3年間の主なものを記入し、各末尾に該当学年を(1)、(1、2)のように書き添える。
 - ・部活動以外の各種コンクール、校外活動やボランティア活動など顕著なものを記入する。
- (6) 行動の記録
- ・評価する項目及びその趣旨は、別表2（P21記載）のとおりとする。
 - ・評価の欄には、各項目ごとにその趣旨を十分満足できる状況にあると判断されるものについて、○印を記載する。記載に当たっては、第3学年の評価を中心に総合的に記載するものとする。
 - ・所見の欄には、行動の状況等について、その特質を明らかにすると思われる具体的事実等を生徒全員について簡明に記述する。
 - ・県外及び海外からの志願者については、評価の欄には中学校生徒指導要録の3年次の評価を転記する。なお、現在第3学年に在籍中の者については、第3学年第2学期までの評価とする。
- (7) 趣味・特技
- ・顕著なものがあれば記入する。
 - ・取得した資格（英語検定や漢字検定等）も記入する。
 - ・上記2点について、なければ「特記事項なし」と記入する。
- (8) 学習の記録
- ア 各教科観点別学習状況の評価
- ・必修教科について、中学校生徒指導要録の記載に従い、第3学年1、2学期末評価を総括して、A、B、Cの3段階で記載する。観点ごとに、別表3（P22・P23記載）の趣旨を十分踏まえて、各学校で実現の状況を、A（十分満足できると判断されるもの）、B（おおむね満足できると判断されるもの）、C（努力を要すると判断されるもの）の3段階で評価する。
- イ 各教科（必修教科）の評定
- ・2年次、3年次とも中学校生徒指導要録の評定に従い、5、4、3、2、1の5段階で記載する。
 - ・現在、第3学年在籍中の者の3年次の評定は、第3学年第2学期末における本人の学力を生徒指導要録の記載法に従い記入する。
- ウ 選択教科名
- ・選択教科については、第2学年及び第3学年における履修教科名のみを記入し、観点別学習状況の評価及び評定は記入しない。なお、選択教科を開設していない場合は、該当学年の教科名欄に斜線を引く。
- エ 特記事項
- ・必修教科について顕著なものがあれば、具体的な状況を記述する。
 - ・選択教科について顕著なものがあれば、その教科名、評価の観点とともに、具体的な状況を記述する。
 - ・専門に関する学科を志願する者については、その学科に関連する適性等に顕著なものがあれば記述する。
 - ・上記3点について顕著なものがなければ、「特記事項なし」と記入する。
- (9) 備考
- ア 進路関係
- ・職業に関する学科のうち、将来の進路に関する本人及び保護者の希望など、特記すべきことがあれば記述する。
- イ 2年次から開設される普通科のコース関係
- ・一般入学者選抜において、2年次から開設される普通科の人文科学（高岡南）、英語（福岡）、国際（富山南）、自然科学、観光ビジネス（入善）、情報（大門）、福祉（八尾）、の各コースを希望する生徒については、「○○コース希望」と明記する。
- ウ 学籍関係
- ・県外からの転入者については、転入年月と前在籍校（例＝令4.5 石川県○○中から転入）を記

入する。

- ・海外からの編入者については、編入年月と滞在していた国名、学校名、滞在期間等を記入する。
- ・県外及び海外からの志願者については、特記すべきことがあれば記述する。
- ・過年度卒業生については、卒業後の進学先・就職先等について記述する。

エ その他

- ・上記のどの欄にも記載されなかった事項について、必要なものがあれば記述する。
※ 上記ア～エのいずれにも記載事項がないときは、「特記事項なし」と記入する。

(10) 学校所在地

- ・県内志願者は記入しなくてもよい。

(11) 過年度卒業生について

- ・過年度卒業生については、生徒指導要録の記載に従って記入する。なお、学校教育法施行規則に定める生徒指導要録の学習の記録の保存年限が過ぎている者についての記載欄には、斜線を引く。

3 学習成績等一覧表の記入上の注意

- (1) 甲、乙表とも令和2年4月に中学校へ入学した生徒のうち、第2、3学年次における在籍生徒全員（特別支援学級在籍者を含む。）について記載する。なお、過年度卒業生は(8)の指示に従って記載する。
 - (2) 甲、乙表とも記入責任者は教務主任とする。
 - (3) 分校は、本校とは別に甲、乙表を作成し提出する。
 - (4) 甲表の在籍人数の欄には、特別支援学級在籍者を含めた中学校第2、3学年次の在籍人数を記載する。評定人数の欄には、特別支援学級在籍者を含めた中学校第2、3学年次の評定人数（長期欠席者等卒業する見込みのない者は除く。）を記入する。転入・転出人数の欄には、中学校第2学年次の評定を行った後に、転入、転出した者の人数を記載する。
 - (5) 乙表の第2学年次に記載された者のうち、第2学年次の評定を行った後に、転校等により転出した者については、その旨を備考欄に記載する（例＝令4.9 石川県〇〇中へ転出）。
 - (6) 乙表の第3学年次に記載された者のうち、第2学年次の評定を行った後に、転校等により転入した者については、その旨を備考欄に記載する（例＝令4.4 福井県〇〇中から転入）。また、現在籍校で評定することができなかった転入者の第2学年次の評定の欄には、前在籍校の5段階評定を参考資料として朱書きする。
 - (7) 第3学年次の転入者のうち、時期的に学習成績等一覧表の記載が困難な場合は、富山県教育委員会県立学校課に連絡して指示を受ける。
 - (8) 過年度卒業生について
ア 甲表の過年度卒業生の志願者人数の欄に、富山県立高等学校の全日制、定時制の学校を志願する過年度卒業生の人数を記入する。
イ 乙表の記入欄の末尾に、在校生とは区別して番外として記入する。なお、その際、学習の評定及び評価は朱書きする。また、備考欄に、**過**として卒業年度を記入する。
- (9) 「学習の記録」「行動の記録」「特別活動」及び「総合的な学習の時間」の記入は、「2 調査書記入上の注意」の該当事項の指示に従って行う。
 - (10) 県内中学校は、学校所在地を記入しなくてもよい。

中学校特別活動の評価の観点

別表1

内 容	評 価 の 観 点
学級活動	<ol style="list-style-type: none"> 1 学級の一員としての役割を自覚し、話し合いや係の仕事などを進んで行おうとしたか。 2 よりよい生活を目指し、学業生活や健康安全などの問題点を明確にとらえ、解決に努めようとしたか。 3 現在及び将来の生き方を幅広く考え、積極的に自己を生かそうとしたか。
生徒会活動	<ol style="list-style-type: none"> 1 生徒会に関心をもち、進んで参加しようとしたか。 2 委員会の仕事などを積極的に行おうとしたか。 3 全校的な視野に立って、学校生活や他のためを考え、自己の役割を果たそうとしたか。
学校行事	<ol style="list-style-type: none"> 1 行事の意義を理解し、進んで参加しようとしたか。 2 全校や学年の一員としての自覚をもち、集団や社会における自己の役割を果たそうとしたか。 3 優れた校風を育て、よりよい人間関係の形成に努めようとしたか。

行動の記録の各項目別趣旨

別表2

項 目	趣 旨
基本的な生活習慣	自他の安全に努め、礼儀正しく節度を守り節制に心掛け調和のある生活をする。
健康・体力の向上	活力ある生活を送るための心身の健康の保持増進と体力の向上に努めている。
自主・自律	自分で考え、的確に判断し、自制心をもって自律的に行動するとともに、より高い目標の実現に向けて計画を立て根気強く努力する。
責 任 感	自分の役割を自覚して誠実にやり抜き、その結果に責任を負う。
創意工夫	探究的な態度をもち、進んで新しい考えや方法を見付け、自らの個性を生かした生活を工夫する。
思いやり・協力	だれに対しても思いやりと感謝の心をもち、自他を尊重し広い心で共に協力し、よりよく生きていこうとする。
生命尊重・自然愛護	自他の生命を尊重し、進んで自然を愛護する。
勤 労 ・ 奉 仕	勤労の尊さや意義を理解して望ましい職業観をもち、進んで仕事や奉仕活動をする。
公 正 ・ 公 平	正と不正を見極め、誘惑に負けることなく公正な態度がとれ、差別や偏見をもつことなく公平に行動する。
公共心・公徳心	規則を尊重し、公徳を大切にするとともに、我が国の伝統と文化を大切に、国際的視野に立って公共のために役に立つことを進んで行う。

別表 3

各教科等の評価の観点と趣旨

教科	観 点	趣 旨
国 語	ア 知識・技能	社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使っている。
	イ 思考・判断・表現	「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の各領域において、社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。
	ウ 主体的に学習に取り組む態度	言葉を通じて積極的に人と関わったり、思いや考えを深めたりしながら、言葉がもつ価値を認識しようとしているとともに、言語感覚を豊かにし、言葉を適切に使おうとしている。
社 会	ア 知識・技能	我が国の国土と歴史、現代の政治、経済、国際関係等に関して理解しているとともに、調査や諸資料から様々な情報を効果的に調べまとめている。
	イ 思考・判断・表現	社会的事象の意味や意義、特色や相互の関連を多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて選択・判断したり、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりしている。
	ウ 主体的に学習に取り組む態度	社会的事象について、国家及び社会の担い手として、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとしている。
数 学	ア 知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> ・数量や図形などについての基礎的な概念や原理・法則などを理解している。 ・事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けている。
	イ 思考・判断・表現	数学を活用して事象を論理的に考察する力、数量や図形などの性質を見だし統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を身に付けている。
	ウ 主体的に学習に取り組む態度	数学的活動の楽しさや数学のよさを実感して粘り強く考え、数学を生活や学習に生かそうとしたり、問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとしていたりしている。
理 科	ア 知識・技能	自然の事物・現象についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。
	イ 思考・判断・表現	自然の事物・現象から問題を見だし、見通しをもって観察、実験などを行い、得られた結果を分析して解釈し、表現するなど、科学的に探究している。
	ウ 主体的に学習に取り組む態度	自然の事物・現象に進んで関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。
音 楽	ア 知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> ・曲想と音楽の構造や背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解している。 ・創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付け、歌唱、器楽、創作で表している。
	イ 思考・判断・表現	音楽を形づくっている要素を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、どのように表すかについて思いや意図をもったり、曲や演奏のよさなどを見だし、音楽を味わって聴いたりしている。
	ウ 主体的に学習に取り組む態度	音や音楽、音楽文化に親しむことができるよう、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。

教科	観	点	趣	旨
美術	ア	知識・技能	・対象や事象を捉える造形的な視点について理解している。 ・表現方法を創意工夫し、創造的に表している。	
	イ	思考・判断・表現	造形的なよさや美しさ、表現の意図と工夫、美術の働きなどについて考えるとともに、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりしている。	
	ウ	主体的に学習に取り組む態度	美術の創造活動の喜びを味わい主体的に表現及び鑑賞の幅広い学習活動に取り組もうとしている。	
保健 体育	ア	知識・技能	運動の合理的な実践に関する具体的な事項や生涯にわたって運動を豊かに実践するための理論について理解しているとともに、運動の特性に応じた基本的な技能を身に付けている。また、個人生活における健康・安全について科学的に理解しているとともに、基本的な技能を身に付けている。	
	イ	思考・判断・表現	自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて、課題に応じた運動の取り組み方や目的に応じた運動の組み合わせ方を工夫しているとともに、それらを他者に伝えている。また、個人生活における健康に関する課題を発見し、その解決を目指して科学的に思考し判断しているとともに、それらを他者に伝えている。	
	ウ	主体的に学習に取り組む態度	運動の楽しさや喜びを味わうことができるよう、運動の合理的な実践に自主的に取り組もうとしている。また、健康を大切にし、自他の健康の保持増進や回復についての学習に自主的に取り組もうとしている。	
技術 ・ 家庭	ア	知識・技能	生活と技術について理解しているとともに、それらに係る技能を身に付けている。	
	イ	思考・判断・表現	生活や社会の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	
	ウ	主体的に学習に取り組む態度	よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。	
外国語	ア	知識・技能	・外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどを理解している。 ・外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて活用できる技能を身に付けている。	
	イ	思考・判断・表現	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で簡単な情報や考えなどを理解したり、これらを活用して表現したり伝え合ったりしている。	
	ウ	主体的に学習に取り組む態度	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。	
総合的な学習の時間	ア	知識・技能	探究的な学習の過程において、課題の解決に必要な知識や技能を身に付け、課題に関わる概念を形成し、探究的な学習のよさを理解している。	
	イ	思考・判断・表現	実社会や実生活の中から問いを見だし、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現している。	
	ウ	主体的に学習に取り組む態度	探究的な学習に主体的・協働的に取り組もうとしているとともに、互いのよさを生かしながら、積極的に社会に参画しようとしている。	

調 査 書

※				※					
学籍	ふりがな			生 年 月 日	性別	学 習 の 記 録			
	氏 名			平成 年 月 日		教科	2年 評定	3年 評定	観点別評価
	現 住 所					国 語			ア イ ウ
欠席	卒 業	令和 年 月	卒業見込 ・ 卒業				社 会		ア イ ウ
	学 年	1 年	2 年	3 年			数 学		ア イ ウ
	日 数						理 科		ア イ ウ
総合的な学習の時間	観 点	評 価	学 習 活 動 等						
	知識・技能								
	思考・判断・表現								
	主体的に学習に取り組む態度								
特別活動	活動内容	評 価	特 記 事 項						
	学級活動								
	生徒会活動								
	学校行事								
部活動等							外 国 語		ア イ ウ
							選 択 教 科	学 年 ・ 教 科 名	
行動の記録	項 目	評 価	項 目	評 価	所 見			2 年	
	基本的な生活習慣		思いやり・協力						
	健康・体力の向上		生命尊重・自然愛護						
	自主・自律		勤 労 ・ 奉 仕						
	責 任 感		公 正 ・ 公 平						
創 意 工 夫		公 共 心 ・ 公 徳 心							
趣味・特技				備 考					特記事項
本書の記載事項に誤りのないことを証明する。 令和 年 月 日									
学校所在地 中学校名 校長氏名 印									
記載者氏名 印									

学習成績等一覧表(甲)

1 各教科の学習の記録

学年	教科 評定	国語	社会	数学	理科	音楽	美術	保健 体育	技・術 家庭	外国語
		5の人数								
第2 学年	4の人数									
	3の人数									
	2の人数									
	1の人数									
	計									
第3 学年	5の人数									
	4の人数									
	3の人数									
	2の人数									
	1の人数									
計										

2 観点別学習状況の評価

観点	Aの人数	
国語	ア	
	イ	
社会	ア	
	イ	
数学	ア	
	イ	
理科	ア	
	イ	
音楽	ア	
	イ	
美術	ア	
	イ	
保健 体育	ア	
	イ	
技・術 家庭	ア	
	イ	
外国語	ア	
	イ	

3 総合的な学習の時間の記録

観 点	○の人数
知 識 ・ 技 能	
思 考 ・ 判 断 ・ 表 現	
主体的に学習に取り組む態度	

4 特別活動の記録

評価	活動内容	学級活動	生徒会活動	学校行事
○ の 人 数				

5 行動の記録

項 目	○の人数	項 目	○の人数
基本的な生活習慣		思いやり・協力	
健康・体力の向上		生命尊重・自然愛護	
自主・自律		勤 労 ・ 奉 仕	
責 任 感		公 正 ・ 公 平	
創 意 工 夫		公 共 心 ・ 公 徳 心	

6 在籍人数等

学年	項目	評定人数	在籍人数	転入・転出人数		過年度卒業者の 志願者人数
				転 入	転 出	
第2学年						
第3学年						

令和 年 月 日

学校所在地
中学校名
校長氏名

印

海外在住状況等説明書

富山県立

高等学校長 殿

令和 年 月 日

本人氏名

保護者氏名

1 出国年月日 年 月 日

2 帰国年月日 年 月 日

3 海外在住期間 年 か月

4 出国前・海外在住中・帰国後の教育歴

学 校 名	学 校 所 在 地 (国名・都市名等)	期 間
		年 月～ 年 月
備		
考		

上記のとおり相違ないことを証明する。

令和 年 月 日

中学校名

校長氏名

印

推薦入学願書

※ No. _____

令和 年 月 日

富山県立

高等学校長 殿

中学校名

本人住所

本人氏名

平成 年 月 日生

推薦

下記のとおり推薦入学を志願いたします。
なお、合格内定の通知を受けた場合は、貴校に入学することを確約いたします。

記

志 願	学 科	科
	コ ー ス	コ ー ス

〒 □ □ □ □ - □ □ □ □ □ □

住 所
保 護 者 氏 名

注・普通科のコースを志願する者は、コース名を必ず記入する。
これら以外を志願する者は、コース欄に斜線を引く。
・富山県収入証紙には封印をしない。
・※欄は記入しない。



推薦入学選考結果通知書

令和 年 月 日

中学校長 殿

高等学校名
校長 氏名



貴校から推薦のあった志願者について、下記のとおり決定したので通知します。

記

1 合格内定となった者

志願学科・コース	受験番号	氏名

2 合格内定とならなかった者

志願学科・コース	受験番号	氏名

合格内定通知書

令和 年 月 日

高等学校名

校長 氏名



受験番号

中学校名

氏名

あなたは、令和5年度富山県立高等学校推薦入学者選抜において、

本校全日制の課程
に合格が内定したので
通知します。

科
コース

なお、次の事項に十分留意してください。

- 1 合格内定の通知を受けた者については、令和5年3月16日(木)午後0時30分に、合格者として受験番号を発表します。
- 2 合格内定の通知を受けた者は、他の公立高等学校を改めて志願することはできません。

(様式 9)

入学検査手数料減免申請書

令和 年 月 日

富山県立 高等学校長 殿

中学校名

本人住所

本人氏名

保護者住所

保護者氏名

富山県立高等学校の授業料等に関する条例第5条により、入学検査手数料を免除されるよう申請いたします。

- 1 入学検査手数料 2,200円
- 2 免除申請額 2,200円
- 3 理由 推薦入学者選抜の出願時に入学検査手数料を納入済みのため

(様式 10)

入学検査手数料納入済証明書

令和 年 月 日

高等学校名

校長氏名

印

下記の者は、入学検査手数料(2,200円)を納入したことを証明します。

記

- 1 中学校名
- 2 氏名

入学審査手数料減免通知書

令和 年 月 日

高等学校名

校長氏名



中学校名

本人氏名

保護者氏名

令和 年 月 日付で申請のあった令和5年度富山県立

高等学校入学審査における入学審査手数料が、下記のとおり免除
されましたので通知します。

記

1 免除額 2,200円

※ No. _____

第2次選抜申請書

(全日制の課程)

令和 年 月 日

富山県立

高等学校長 殿

中学校名

本人住所

本人氏名

平成 年 月 日生

下記のとおり申請いたします。

記

学	科	第1次選抜志願先高等学校名とその学科
第1順位	科	高等学校 科
第2順位	科	科

〒 □ □ □ □ - □ □ □ □ □ □

住所
保護者 氏名

注・第2次選抜志願先高等学校長に提出する。
 ・第2順位の学科を志望しない者は、斜線を引く。
 ・※欄は記入しない。

第 2 次 選 抜 志 願 に つ い て

(申 請)

令 和 年 月 日

中 学 校 名

本 人 氏 名 (姓・名)

保 護 者 氏 名

下記のとおり第 2 次選抜に志願したいので申請します。

記

本人 現 住 所	〒 □□□□ - □□□□
保 護 者 現 住 所	〒 □□□□ - □□□□
第 2 次 選 抜 志願先高等学校名	高等学校 (第 1 順位志願のみ) 科
第 1 次 選 抜 志願先高等学校名	高等学校 (第 1 順位志願のみ) 科

注 第 1 次選抜志願先高等学校長に提出する。

学 力 検 査 成 績 証 明 書

令 和 年 月 日

富 山 県 立 高 等 学 校 長 殿

学 校 名

校 長 氏 名

印

下記の者は、令和 5 年度富山県立高等学校入学選抜学力検査を受検し、その成績は次のとおり相違ないことを証明する。

受 検 者 氏 名 _____

社 会	国 語	理 科	英 語	数 学	計

区域外志願許可書

(区域外) 第 号

中学校名

(印)

本人氏名

保護者氏名

令和 年 月 日 付けで申請のあった富山県立

高等学校

科への入学志願を許可する。

令和 年 月 日

富山県教育委員会
教育長

(印)

富山県立高等学校入学志願特別事情申請書

富山県教育委員会教育長 殿

令和 年 月 日

(印)

本人氏名

保護者氏名

富山県立高等学校入学志願特別事情について (申請)

下記の事情により、富山県立高等学校に入学を志願したいので、関係書類を添えて申請します。「県外・海外志願許可書」を受領したうえで、「富山県立高等学校入学志願特別事情」にしたがって志願します。

記

本人現住所	
保護者現住所	〒 □□□□ - □□□□ TEL ()
本県で居住予定の住所	
理由 (具体的に記述すること。)	

上記のとおり相違なく、本都道府県公立高等学校に志願しないことを証明する。

令和 年 月 日

都道府県名及び学校名

校長氏名

(印)

上記のとおり相違ないことを証明する。

令和 年 月 日

都道府県教育委員会名

教育長氏名

(印)

県外・海外志願許可書

(県外・海外) 第 号

中学校名
本人氏名
保護者氏名

令和 年 月 日付けで申請のあった富山県立高等学校への入学志願を許可します。なお、本書は、入学願書等とともに志願先高等学校長に提出してください。

令和 年 月 日

富山県教育委員会

教育長



注 富山県立高等学校入学選抜実施要領にしたがって志願してください。

※ No. _____

入学願書 (定時制の課程)

富山県立 高等学校長 殿
令和 年 月 日

中学校名
本人住所
勤務先
本人氏名

TEL ()
TEL ()

平成 年 月 日生

下記のとおり入学を志願いたします。

記

第1順位	科	制	部
第2順位	科	制	

〒 □□□□ - □□□□

住所
保護者氏名

- 注・志願欄には志願する学科及び授業開設形態（例えば昼間単位制1部、夜間制など）を記入する。「部」の欄は該当するものがない場合は、空欄とする。
- ・第2順位は富山工業高等学校の定時制の課程を志願する者に限る。（第2順位の学科を志願しない者は、斜線を引く。）
 - ・富山県収入証紙には消印をしない。
 - ・電話番号欄は、令和4年3月以前に中学校等を卒業した志願者及び単位制後期の志願者のみ記入する。
 - ・※欄は記入しない。

富山県収入証紙
950円

定時制

※ No. _____

入学願書 (通信制の課程)

令和 年 月 日

富山県立雄峰高等学校長 殿
最終出身学校名

〒 □□□□-□□□□□□

本人住所 TEL ()

勤務先 TEL ()

本人氏名 (ふりがな)

平成 年 月 日生

下記のとおり入学を志願いたします。

記

学 科	普 通 ・ 衛 生 看護
-----	--------------

〒 □□□□-□□□□□□

住所 氏名
保護者 氏名

注・学科については、該当するものを○で囲む。
 ・富山県収入証紙には消印をしない。
 ・※欄は記入しない。



通信制

受検上の配慮申請書

令和 年 月 日

富山県立 高等学校長 殿
中学校名
校長氏名

印

下記のとおり、富山県立高等学校入学選抜において、受検上の配慮を申請します。

志願者氏名	性別
志願学科・コース	
希望する配慮事項 <input type="checkbox"/> 別室受検 <input type="checkbox"/> 座席の配慮 <input type="checkbox"/> 拡大鏡等の持参使用 <input type="checkbox"/> その他 <small>該当するものをチェックする。その他の場合、()内に具体的内容を記入する。</small>	
配慮を希望する理由 (障害等の状況)	
中学校における 日常の配慮事項	

注 中学校で2部作成し、入学願書に添えて志願先高等学校長へ提出する。

以下は高等学校記入

富山県立高等学校入学選抜における受検上の配慮について、下記のとおり対応します。

実施する配慮事項 (該当欄をチェックする。その他の場合は内容を記入する。)

希望のとおり その他

令和 年 月 日
高等学校名
校長氏名

印

自己申告書

※ 富山県立 高等学校長 殿

※ 令和 年 月 日

※ 中学校名

※ 本人氏名

※ 保護者氏名

- 提出可能な入学者選抜
- ・全日制の課程一般
 - ・定時制の課程単位制前期第1次
 - ・定時制の課程単位制後期

貴校への入学を志願するにあたり、下記のとおり申告します。

※ (欠席の理由や事情)

※ (高等学校で学びたいこと)

【記入上の注意】

- ・※欄は、本人がボールペンで自筆で必要事項を記入すること。
- ・保護者氏名欄は、保護者が記名すること。

外国人特別措置適用申請書

富山県立 高等学校長 殿

令和 年 月 日

※ 本人氏名

※ 保護者氏名

下記の事項に基づき、富山県立高等学校入学者選抜において、外国人特別措置の適用を申請します。

記

- 1 入国年月日 年 月 日
- 2 入国後の教育歴

学 校 名	学 校 所 在 地 (都道府県名)	期 間
		年 月 ~ 年 月

上記のとおり相違ないことを証明する。

令和 年 月 日

中学校長 氏名

校長氏名

追検査受検申請書

令和 年 月 日

富山県立

高等学校長 殿

中学校名

志願者氏名

保護者氏名

下記の理由により一般入学者選抜を欠席しましたので、追検査の受検を申請します。

志願学科・コース	
欠席した検査日 (該当欄をチェックする)	<input type="checkbox"/> 第1日及び第2日 <input type="checkbox"/> 第2日
理由	

注 ・2部作成し、中学校長から志願先高等学校長へ提出する。
 ・理由を証明する書類を添付すること。

上記のとおり相違ないことを証明する。

令和 年 月 日

中学校名

校長氏名

印

以下は高等学校記入

追検査の受検について、下記のとおりとします。

承認する検査 (該当欄をチェックする)

- 第1日及び第2日に実施した検査
 第2日に実施した検査

令和 年 月 日

高等学校名

校長氏名

印

以上の様式1から様式31に記載された個人情報、富山県立高等学校入学者選抜(志願者の確認、志願者への連絡等を含む。)に使用します。

全日制の課程 学校別入学者選抜実施概要一覧

募集定員欄の()は募集定員の内数である場合は、推薦募集人員の上限を超えない範囲で、高等学校長が2名までの幅で募集人員を超えて合格内定者を定めることができる。
 ・募集定員が「～程度」と表記されている場合は、推薦募集人員の上限を超えない範囲で、令和5年度富山県立高等学校入学者募集要項第2の1(3)の規定により、推薦入学を実施する学校が同欄に明示したものを除き、同項第2の(4)に掲げる次のa、b、c、dとは、令和5年度富山県立高等学校入学者募集要項第2の1(3)の規定により、推薦入学を実施する学校が同欄に明示したものを除き、同項第2の(4)に掲げる次のa、b、c、dをいう。
 a 専門に関する優れた能力又は実績があること。
 b 芸術、文化、社会奉仕活動、社会奉仕活動等学校内外における自発的な活動に継続して積極的に取り組んだ実績があること。
 c 専ら、文化、社会奉仕活動、社会奉仕活動等学校内外における自発的な活動に継続して積極的に取り組んだ実績があること。
 d 生徒会活動、社会奉仕活動等学校内外における自発的な活動に継続して積極的に取り組んだ実績があること。

学校名	学科名	募集定員	コース開設学年	一般選抜			推薦選抜						
				傾斜配点	面接	実技検査	備考	募集人員	推薦志願資格(a・b・c・d)別人員等	面接	作文	実技検査内容	備考
入	普通 (自然科学コース)	160	2年次					8程度	a b c d合計8名 b(数学・理科のいずれかに興味・関心のある者、又は体験活動、探究活動に意欲的に取り組む者) c(部活動等において優れた能力又は実績があり、入学後も継続して行う意欲のある者) d(生徒会やボランティア活動を継続的にを行い、その活動に貢献した者)	個人	有		
	(観光ビジネスコース)		2年次					8程度	a b c d合計8名 b(地域の文化・人・自然に興味・関心のある者、又はフィールドワーク、探究活動に意欲的に取り組む者) c、dは「自然科学コース」と同じ	個人	有		
善	農業	30						12程度	a b c d合計12名 b(植物の栽培に興味があり、実験や実習に意欲的に取り組む者) c(部活動等において優れた能力又は実績があり、入学後も継続して行う意欲のある者) d(生徒会やボランティア活動を継続的にを行い、その活動に貢献した者)	個人	有		
桜井	普通	120											
	土木	40						18程度	a b c d合計18名 b(数学や理科が得意で、土木技術に興味・関心のある者、又は土木系の大学等への進学や資格取得を目指す者) c(芸術、文化、体育のいずれかの分野において優れた能力又は実績があり、入学後も継続する意欲のある者) d(生徒会活動、社会奉仕活動等に継続的に取り組んだ実績があり、入学後も意欲をもってその活動に参加する者)	個人	有		
	生活環境	40						18程度	a b c d合計18名 b(技術・家庭が得意で、生活や環境に興味・関心のある者、又は生活関連産業学科への進学や資格取得を目指す者) c(土木科のcに同じ) d(土木科のdに同じ)	個人	有		
魚津	普通	160											
魚津工業	機械	40						16程度	a b c d合計16名 a(数学、理科、技術・家庭等が優良で、専門技術に興味・関心がある者、又は工業系の大学等への進学を目指す者) b(機械の仕組み・機械加工などに興味・関心があり、ものづくりや資格取得に意欲をもって取り組む者) c(部活動等に関して優れた能力、又は実績があり、入学後も継続して活動する意志のある者) d(生徒会活動やボランティア活動を継続して行った実績があり、入学後もすすんで活動する意志のある者)	個人	有		
	電気	40						16程度	a b c d合計16名 a(機械科のaに同じ) b(電気の仕組み・プログラムによる制御などに興味・関心があり、ものづくりや資格取得に意欲をもって取り組む者) c(機械科のcに同じ) d(機械科のdに同じ)	個人	有		
	情報環境	40						16程度	a b c d合計16名 a(機械科のaに同じ) b(環境保全や化学の観察・実験、又は機械の制御・ロボットなどに興味・関心があり、ものづくりや資格取得に意欲をもって取り組む者) c(機械科のcに同じ) d(機械科のdに同じ)	個人	有		
滑川	普通	80											
	農業	40						18程度	a b c d合計(約18名) b(国語、数学、理科、技術・家庭のうち、いずれか3教科に優れている者) c(部活動等における実績や能力があり、入学後、本校の部活動等で活動する意志のある者) d(生徒会活動やボランティア活動等に継続的に取り組んだ実績のある者)	個人	有		
	商業	40						18程度	a b c d合計(約18名) b(国語、社会、数学、技術・家庭、英語のうち、いずれか3教科に優れている者) c(部活動等における実績や能力があり、入学後、本校の部活動等で活動する意志のある者) d(生徒会活動やボランティア活動等に継続的に取り組んだ実績のある者)	個人	有		
上山市	海洋	40						18程度	a b c d合計(約18名) b(国語、数学、理科、保健体育、技術・家庭のうち、いずれか3教科に優れている者) c(部活動等における実績や能力があり、入学後、本校の部活動等で活動する意志のある者) d(生徒会活動やボランティア活動等に継続的に取り組んだ実績のある者)	個人	有		
	総合	150						45程度	a b c d合計45名 a(学習活動全般に積極的に取り組みさらに向上を目指す者) b(農業、家庭、福祉、商業系の専門分野に興味・関心が高い者) c(部活動等において実績や意欲があり、入学後、本校の部活動等で活動する者) d(生徒会活動やボランティア活動等において実績があり、入学後も積極的に活動する者)	個人	有		
雄山	普通	80											
雄山	生活文化	40						12程度	a b c d合計12名 a(学習活動に顕著な成果が見られる者) b(技術・家庭に興味・関心が高く、優れており、資格取得に意欲的な者) c(専門学科に興味・関心がある者で、部活動等の能力又は実績があり、入学後も本校の部活動で継続して意欲的に活動する意志のある者) d(生徒会活動や継続的なボランティア活動の実績があり、入学後も活躍が期待できる者)	個人	有		

☆：桜井高等学校普通科については、募集定員のうち、5名を帰国生徒の受け入れ枠とする。

学校名	学科名	募集定員	コース開設学年	一 般 選 抜 友			推 薦 選 抜 友															
				傾斜配点	面接	実技検査	備考	募集人員	推薦志願資格(a・b・c・d)別人員等	面接	作文	実技検査内容	備考									
中央農業	生物生産	78				集団		36程度	a b c d 合計36名 b (植物の栽培や動物の飼育に興味・関心が高く、意欲的に実験・実習に取り組む者) c (同一の部活動等に継続して積極的に取り組んだ実績のある者) d (生徒会活動及び学級活動において活躍した者又は奉仕活動を継続的に行った者)	個人	有											
	園芸デザイン																					
	バイオ技術																					
八尾	普通 (福祉コース)	160	2年次					18程度	a (約9名) c d 合計(約9名) a (福祉に興味・関心がある者で、調査書の「学習の記録」が優良である者) c (福祉に興味・関心がある者で、部活動等において優れた能力又は実績があり、入学後も継続できる者) d (福祉に興味・関心がある者で、生徒会活動や継続的な社会奉仕活動の実績があり、入学後も活躍が期待できる者)	個人	有											
富山西	普通	160																				
富山中	普通	160																				
	探究科学 理数科学 (約40) 80 人文社会科学 (約40)																					
富山中	普通	160																				
	探究科学 理数科学 (約40) 80 人文社会科学 (約40)																					
富山北部	普通 (体育コース)	120 (約40)	1年次	保倍 2.0倍		志願者は、以下のの中から1種目を選択する。選択した種目の基礎的な能力検査を実施する。 ・陸上競技(男女) ・サッカー(男女) ・テニス(男女) ・野球(男) ・フェンシング(男女) ・カヌー(男女) ・水球(男) ・剣道(男女)	24	b 24名 b (以下の種目に関して、優れた能力、又は実績がある者) ・陸上競技(男女) ・サッカー(男) ・テニス(男女) ・野球(男) ・フェンシング(男女) ・カヌー(男女) ・水球(男) ・剣道(男女) ・その他の種目	個人	有	<共通種目> ・20m折り返し走(40m走) ・立ち幅及びハンドボール投げ <選択種目> 志願資格の「その他の種目」の志願者も、選択した種目の中から1種目を選択する。選択した種目の基礎的な能力検査を実施する。 ・陸上競技(男女) ・サッカー(男) ・テニス(男女) ・野球(男) ・フェンシング(男女) ・カヌー(男女) ・水球(男) ・剣道(男女)	学校所定報及び査目の運動実績や検査種目の実技検査提出										
	くすり・バイオ												80				32程度	a b c d 合計(約32名) b (数学・理科の教科が得意であり、「薬の製造や分析」及び「人の健康」・「バイオテクノロジー」に興味・関心が高く、薬業関係への進路を目指す者) c (部活動等において実績や能力・意欲があり、入学後も継続的に部活動に参加し、学習との両立を目指す者) d (生徒会やボランティア活動を継続して行った実績があり、入学後も意欲を持ってこれらの活動に参加しようとする強い意志を持つ者)	個人	有		
	情報デザイン												40				18程度	a b c d 合計(約18名) b (美術・技術・家庭の教科が得意であり、デザインやコンピュータ・グラフィックスに興味・関心が高く、デザインやビジネス系の大学等へ進学を目指す者) c (くすり・バイオ科のcに同じ) d (くすり・バイオ科のdに同じ)	個人	有	田柱又は立方体のいずれかの鉛筆デッサン(60分)	
富山工業	機械工学	80					32程度	a b c d 合計32名 a (数学、理科、技術・家庭等が得意で、専門技術に興味・関心がある者、又は、工業系の大学等を目指す者) b (機械の仕組みなどに興味・関心があり、意欲をもつものづくりに取り組む者) c (部活動等において優れた能力又は実績があり、入学後も継続的に部活動に参加しようとする強い意志をもつ者) d (生徒会やボランティア活動を継続して行った実績があり、入学後も意欲をもって、その活動に参加する者)	個人	有												
	電子機械工学	40					16程度	a b c d 合計16名 a c d (機械工学科に同じ) b (機械の制御やロボットなどに興味・関心があり、意欲をもつものづくりに取り組む者)	個人	有												
	金属工学	40					16程度	a b c d 合計16名 a c d (機械工学科に同じ) b (工業材料に興味・関心があり、意欲をもつものづくりに取り組む者)	個人	有												
	電気工学	80					32程度	a b c d 合計32名 a c d (機械工学科に同じ) b (電気に興味・関心があり、意欲をもつものづくりに取り組む者)	個人	有												
	建築工学	40					16程度	a b c d 合計16名 a (数学、理科、技術・家庭、美術等が得意で、専門技術に興味・関心がある者、又は、建築系の大学等を目指す者) b (建築や美術の分野に興味・関心があり、意欲をもつものづくりに取り組む者) c d (機械工学科に同じ)	個人	有												
	土木工学	40					16程度	a b c d 合計16名 a c d (機械工学科に同じ) b (土木技術に興味・関心があり、意欲をもつものづくりに取り組む者)	個人	有												

☆：探究科学科は理数科学科と人文社会科学科の総称である。

学校名	学科名	募集定員	コース開設学年	一斉受選委員			推薦選委員							
				傾斜配点	面接	実技検査	備考	募集人員	推薦志願資格(a・b・c・d)別人員等				面接	作文
富山商業	流通ビジネス	80					40	a b c d 合計40名	個人	有				
	ビジネスマネジメント	40					20	a b c d 合計20名	個人	有				
	会計ビジネス	40					20	a b c d 合計20名	個人	有				
	情報ビジネス	80					40	a b c d 合計40名	個人	有				
富山いずみ	総合	150					45程度	a(約13名) b(約17名) c d 合計(約15名) a(学習活動全般に優れていて、さらに向上を目指す者) b(「英語と国語」あるいは「英語と社会」が優れていて、さらに向上を目指す者) b(「数学と理科」が優れていて、さらに向上を目指す者) b(「技術・家庭」と「国語、社会、数学、理科、英語のうち1教科」が優れていて、さらに向上を目指す者) c(部活動等において能力や実績があり、入学後も本校の部活動等で継続して意欲的に活動する意志がある者) d(生徒会活動やボランティア活動などに実績があり、入学後も継続して活動する意志がある者)	個人	有				
	看護	40					14程度	a c d 合計14名 a c d(総合学科に同じ)	個人	有				
富山東	普通 (自然科学コース)	240 (約40)	1年次				12程度	a b 合計12名 b(数学・理科について興味・関心が高く、優れている者)	個人	有				
富山南	普通 (国際コース)	200	2年次				8程度	a b 合計8名 a(調査書の「学習の記録」が優良であり、学習意欲の高い者) b(英語に興味・関心が高く、優れている者)	個人	有				面接は英語を含む 英語問答を 含む。
呉羽	普通 (音楽コース)	230 (約30)	1年次	音楽 2.0倍			18	学校所定の受検曲票及び楽譜の提出 b 18名 b(音楽に関する優れた能力、又は実績のある者)	個人					学校所定の受検曲票及び楽譜の提出
								<声乐を選択する者> 本校教諭がピアノ伴奏し、受検者は自由曲を歌唱(3分程度)。移調を認める。 <器楽(ピアノ)を選択する者> 受検者は選択曲(推薦入学者選抜に準ずる)を演奏(3分程度)。 <器楽(ピアノ以外)を選択する者> 受検者は自由曲を演奏(3分程度)。無伴奏。 (注) ・声乐を選択する者の新曲視唱及び器楽を選択する者の歌唱は実施しない。 ・自由曲・選択曲については、暗譜の必要はない。					<声乐を選択する者> ・自由曲を暗譜で歌唱 ・新曲視唱 <器楽(ピアノ)を選択する者> ・選択曲を暗譜で演奏 ・自由曲歌唱 〔選択曲の詳細については、本校「推薦入学者選抜実技検査内容について」を参照。〕 <器楽(ピアノ以外)を選択する者> ・自由曲を暗譜で演奏 ・自由曲歌唱 (注)歌唱については、本校教諭が伴奏を行う。	
小杉	総合	160					45程度	a b 合計(約7名) c d 合計(約38名) a(探究的な学習に関心が高く、大学への進学を目指す者) b(「技術・家庭」に優れた能力を持ち、商業・情報や食物・園芸、保育・福祉のいずれかの分野に興味・関心が高く、資格取得や実習に意欲的な者) b(「英語」に関する興味・関心が高く、英語の学習や資格取得に意欲的な者) c(美術に興味・関心と実績や能力・意欲があり、その学びを継続する意志のある者) c(柔道で優れた実績や能力・意欲があり、継続する意志のある者、男女約12名) c(女子ハンドボール、野球等で実績や能力・意欲があり、継続する意志のある者) d(生徒会活動やボランティア活動を継続して行った実績があり、入学後もすすんで活動する意志のある者)	個人	有			<cの美術の志願者> ・素描(鉛筆デッサン) <cの柔道、女子ハンドボール、野球の志願者> ・選択種目(柔道、ハンドボール、野球のうちから1つ)	美術の志願者は、当学期制作面を積み重ね、中学校時代にたいた(平)点(大四以上)を参考に
	普通 (情報コース)	120	2年次				12程度	a b c d 合計12名 a(理工系への興味・関心があり、調査書の「学習の記録」が優良である者) b(理工系への興味・関心があり、「数学・理科・英語」のうち、いずれかの2教科について優れた能力・実績がある者) c(理工系への興味・関心があり、芸術、文化、体育のいずれかの分野において優れた能力・実績がある者) d(理工系への興味・関心があり、生徒会やボランティア活動に積極的に取り組んだ実績がある者)	個人	有				
新湊	普通	120												
	商業	40					18程度	a b c d 合計18名 a(学習活動に顕著な成果がみられ、入学後もさらにその向上を目指す意欲のある者) b(珠算、英語等、商業関連の検定資格を有し、入学後もさらに高度な検定資格取得を目指す意欲のある者) c(部活動等において優れた能力や実績があり、入学後も継続して部活動に取り組む意欲のある者) d(生徒会活動、ボランティア活動、地域貢献活動等において功績があり、入学後も継続して取り組む意欲のある者)	個人	有				
高岡	普通	160												
	探究科学 理数科学 (約40) 人文社会科学 (約40)	80 (約40)												

☆：探究科学科は理数科学科と人文社会科学科の総称である。

学校名	学科名	募集員	コース開設学年	——舟安選抜友				推薦選抜友						
				傾斜配点	面接	実技検査	備考	募集人員	推薦志願資格(a・b・c・d)別人員等			面接	作文	実技検査内容
高岡工業芸	機械	40						16程度	a b c d 合計16名 a (数学、理科、技術・家庭の教科が優良で、当該学科の専門科目について学ぶ意欲があり、大学等への進学や資格取得を目指す者) b (ものづくりが好きで、機械の構造に興味・関心があり、製作や実験に積極的に取り組む意欲のある者) c (部活動等において優れた能力又は実績を持ち、入学後も部活動を継続し、学業と両立する強い意志を持つ者) d (生徒会活動やボランティア活動の実績があり、その活動に貢献した者)	個人	有			
	電子機械	40						16程度	a b c d 合計16名 a (機械科のaに同じ) b (ものづくりが好きで、メカトロニクスやコンピュータの活用に興味・関心があり、製作や実験に積極的に取り組む意欲のある者) c (機械科のcに同じ) d (機械科のdに同じ)	個人	有			
	電気	40						16程度	a b c d 合計16名 a (機械科のaに同じ) b (ものづくりが好きで、電気やコンピュータの仕組みに興味・関心があり、製作や実験に積極的に取り組む意欲のある者) c (機械科のcに同じ) d (機械科のdに同じ)	個人	有			
	建築	40						16程度	a b c d 合計16名 a (数学、理科、美術、技術・家庭の教科が優良で、当該学科の専門科目について学ぶ意欲があり、大学等への進学や建築技術者を目指す者) b (建築の設計・施工に興味・関心があり、将来、建築技術者を目指す者) c (機械科のcに同じ) d (機械科のdに同じ)	個人	有			
	土木環境	40						16程度	a b c d 合計16名 a (機械科のaに同じ) b (測量や土木構造物、環境問題に興味・関心があり、将来、土木や環境化学の分野の技術者を目指す者) c (機械科のcに同じ) d (機械科のdに同じ)	個人	有			
	工芸	30						12程度	a b c d 合計12名 a (国語、美術、技術・家庭の教科が優良で、将来にわたり美術工芸の学習を深めたい者や大学等への進学を目指す者) b (地場産業である木工芸、金属工芸、漆工芸等の伝統工芸に興味・関心があり、将来、関連分野での活躍を目指す者) c (機械科のcに同じ) d (機械科のdに同じ)	個人	有	立体製作とそのスケッチ		
	デザイン・絵画	40						20	a b c d 合計20名 a (国語、美術、技術・家庭の教科が優良で、将来、美術やデザインの専門職を目指す者や大学等への進学を目指す者) b (各種応募作品展等で入選実績がある者や、将来、デザイン・絵画等の分野での活躍を目指す者) c (機械科のcに同じ) d (機械科のdに同じ)	個人	有	鉛筆デッサン		
高岡商業	流通ビジネス	80						40	a b c d 合計40名	個人	有			
	国際ビジネス	40						20	a b c d 合計20名	個人	有			
	会計ビジネス	40						20	a b c d 合計20名	個人	有			
	情報ビジネス	40						20	a b c d 合計20名	個人	有			
伏木	国際交流	120						40程度	a b c d 合計40名 a (調査書の「学習の記録」が優良である者) b (英語に優れ、外国語や国際交流等に興味・関心が高く、それらに積極的に取り組む意欲のある者) c (サッカー、野球等の運動部や文化部等において能力、意欲又は実績があり、入学後も継続できる者) d (生徒会活動やボランティア等で実績があり、入学後も継続する意欲のある者)	個人	有			面接では簡単な英語による面接を行う
高岡南	普通 (人文科学コース)	160						12程度	a b 合計12名 b (国語・社会・英語の3教科について優れた能力、又は実績を有する者)	個人	有			
	普通 (英語コース)	120						16程度	a b c d 合計16名 a (調査書の「学習の記録」が優良であり、各教科に対する意欲が高い者) b (英語に優れた能力及び実績があり、さらに高める意欲のある者) c (芸術、文化、体育のいずれかの分野で優れた能力又は実績があり、入学後も継続する意志のある者) d (生徒会活動やボランティア活動で実績があり、入学後も活動する意志のある者)	個人	有			面接は英語による面接を含む

学校名	学科名	募集定員	コース開設年	一舟選抜			推薦選抜				面接	作文	実技検査内容	備考
				傾斜配点	面接	実技検査	備考	募集人員	推薦志願資格(a・b・c・d)別人員等					
水見	普通	80												
	農業科学	(20)						8程度	a b合計(約4名) c d合計(約4名) b(理科・技術・家庭に優れ、植物の栽培、地域の農業や自然環境などに興味・関心が高く、実験・実習や資格取得に意欲をもつ者) c(ハンドボール、野球、バレーボール、自転車などの活動に優れた能力や実績があり、入学後もそれらを継続し積極的に活動する意志をもつ者) d(生徒会活動・ボランティア活動等において優れた能力や顕著な実績があり、入学後も積極的に活動する意志のある者)	個人	有			
	海洋科学	(20)						8程度	a b合計(約4名) c d合計(約4名) b(理科・技術・家庭に優れ、海洋生物や環境、機船技術、水産物の調理加工の分野に興味があり、実験・実習や資格取得に意欲をもつ者) c d(農業科学科のc dに同じ)	個人	有			
	ビジネス	40						18程度	a b合計(約6名) c d合計(約12名) b(英語、国語又は社会に優れ、ビジネスの分野に興味があり、実習や資格取得に意欲をもつ者) c d(農業科学科のc dに同じ)	個人	有			
	生活福祉	40						18程度	a b合計(約8名) c d合計(約10名) b(国語、英語、技術・家庭に優れ、福祉・看護や保育、食物栄養・調理、被服などに興味があり、実験・実習や資格取得に意欲をもつ者) c d(農業科学科のc dに同じ)	個人	有			
砺波	普通	160												
砺波工業	機械	80						32程度	a b c d合計(32名) a(数学、理科、技術・家庭が優良で専門技術に興味・関心があり、工業系の大学等をめざす者) b(機械加工やものづくりに興味・関心があり、機械に関する資格取得に積極的に取り組む意欲がある者で、将来専門技術者として活躍しようとする者) c(部活動等において優れた能力又は実績があり、入学後の部活動で継続して意欲的に取り組んでいく意志のある者) d(生徒会活動やボランティア活動を継続して行った実績があり、入学後もすすんで活動する意志がある者)	個人	有			
	電気	40						16程度	a b c d合計(16名) a(機械科のaに同じ) b(電気技術やものづくりに興味・関心があり、電気工事士などの資格取得に積極的に取り組む意欲がある者で、将来専門技術者として活躍しようとする者) c(機械科のcに同じ) d(機械科のdに同じ)	個人	有			
	電子	40						16程度	a b c d合計(16名) a(機械科のaに同じ) b(電子・情報技術やものづくりに興味・関心があり、電気通信の工事担任者やITパスポートなどの資格取得に積極的に取り組む意欲がある者で、将来専門技術者として活躍しようとする者) c(機械科のcに同じ) d(機械科のdに同じ)	個人	有			
南砺福野	普通	160												
	国際	30						10程度	a b c d合計10名 a(学習活動全般にわたり真面目に取り組む、その成果が認められる者) b(英語に優れ、外国文化に興味・関心のある者) c(芸術・文化、体育のいずれかの分野において優れた能力又は実績があり、入学後も活動し、学習との両立を目指す者) d(生徒会活動、ボランティア活動等に自発的、継続的に取り組んだ実績があり、入学後も継続して行う意欲のある者)	個人	有			面接は英語による面接を含む
	農業環境	30						12程度	a b c d合計12名 a(国際科のaに同じ) b(農業に興味・関心が高く、農業や農業土木に関する進路を目指す者) c(国際科のcに同じ) d(国際科のdに同じ)	個人	有			
	福祉	30						15	a b c d合計15名 a(国際科のaに同じ) b(高齢者福祉・障害者福祉について興味・関心が高く、福祉に関する進路を目指す者) c(国際科のcに同じ) d(国際科のdに同じ)	個人	有			
南砺平	普通	30												
石動	普通	120												
	商業	40						18程度	a b c d合計18名 a(学習活動全般に工夫をし、その成果が見られ、さらに向上を目指す者) b(商業の学習に関連する検定資格(珠算、英語、情報処理等)を持ち、さらに資格取得を目指す者) c(ホッケー、野球、その他の部活動や社会体育活動に優れた能力又は実績があり、入学後もその活動を継続し、学習との両立を目指す者) d(生徒会活動や社会奉仕的活動に顕著な実績があり、入学後も継続して活動することを目指す者)	個人	有			

	全日制の課程 の入学選抜	一舟選抜			推薦選抜		
		傾斜配点	面接	実技検査	面接	作文	実技検査
実施校数	34校	2校	1校	2校	27校	26校	4校
実施学科数	82学科	2学科	3学科	2学科	62学科	61学科	6学科
合計	募集定員	6,188名			推薦選抜 募集人員 1,222名		

定時制の課程 学校別入学者選抜実施概要一覧

学 校 名	学 科 名	募集定員	授 業 開 設 形 態	作文	面接	学力検査	備 考
新川みどり野	普 通	約 120	昼間単位制Ⅰ部(約40) 昼間単位制Ⅱ部(約40) 夜間単位制(約40)	有	個人	国 語 数 学	
	福 祉 教 養	約 40	昼間単位制Ⅰ部	有	個人		
富 山 工 業	機 械	約 40	夜間制	有	併用	国 語 数 学	・生産機械科は富山県技術専門学院短期課程の生徒を対象とする。 ・第2次選抜の検査実施日は、令和5年3月30日(木)の予定。
	電 気	約 40	夜間制	有	併用		
	生 産 機 械	約 40	夜間制(技能連携)	有	併用		
雄 峰	普 通	約 200	昼間単位制Ⅰ部(約80) 昼間単位制Ⅱ部(約40) 夜間単位制(約80)	有	個人	国 語 数 学	
	総合ビジネス	約 40	夜間単位制	有	個人		
	生活文化	約 40	昼間単位制Ⅰ部	有	個人		
志 貴 野	普 通	約 80	昼間単位制Ⅰ部(約40) 夜間単位制(約40)	有	個人	国 語 数 学	
	国際教養	約 40	夜間単位制	有	個人		
	総合ビジネス	約 80	昼間単位制Ⅰ部(約40) 昼間単位制Ⅱ部(約40)	有	個人		
	生活文化	約 40	昼間単位制Ⅱ部	有	個人		
小 矢 部 園 芸	園 芸	約 40	昼間単位制	有	個人	国 語 数 学	
と な み 野	普 通	約 80	昼間単位制Ⅰ部(約40) 昼間単位制Ⅱ部(約40)	有	個人	国 語 数 学	
	総合福祉	約 40	昼間単位制Ⅰ部	有	個人		
合 計		約 960					

通信制の課程 入学者選抜実施概要一覧

学 校 名	学 科 名	募集定員	選抜方法	提 出 書 類
雄 峰	普 通 衛生看護	約 300	面 接 等	・入学願書(学校所定のもの) ・調査書(ただし、平成29年3月以前の卒業者については、出身中学校等の卒業証明書をもって代えることができる) ・衛生看護科を志願する者は、富山市医師会看護専門学校准看護学科の合格証の写し

専攻科 学校別入学者選抜実施概要一覧

学 校 名	学 科 名	募集定員	選抜方法	提 出 書 類
中 央 農 業	農 業			
	・新しい学習成果コース	約 10	面 接 作 文	・入学願書(学校所定のもの) ・履歴書(学校所定のもの) ・卒業見込み証明書又は卒業証明書 ・営農状況調査書(学校所定のもの) ・出身高等学校長等又は地域農林振興センター所長の推薦書(学校所定のもの)
	・旧課程コース	約 10	面 接 作 文 実 技	・入学願書(学校所定のもの) ・履歴書(学校所定のもの)
雄 峰	生活科学 ・調理師養成課程 (午前部) (午後部)	60 (30) (30)	面 接 作 文	・入学願書(学校所定のもの) ・高等学校等調査書又は成績証明書 ・成績証明書を提出した者のみ卒業証明書
小 矢 部 園 芸	園 芸	約 40	面 接 作 文	・学校所定の入学願書 ・履歴書 ・高等学校等卒業見込み証明書又は卒業証明書等
合 計		約 120		

令和5年度富山県立高等学校全日制の課程第1学年募集定員

学 校 名	学 科 名	募集定員	備 考
入 善	普 通 (自然科学コース) (観光ビジネスコース)	160	(※) (※)
	農 業	30	※
桜 井	普 通	120	
	土 木	40	※
	生 活 環 境	40	※
魚 津	普 通	160	
魚津工業	機 械	40	※
	電 気	40	※
	情 報 環 境	40	※
	(電子機械コース) (化学工業コース)		
滑 川	普 通	80	
	普 業	40	※
	商 業	40	※
	海 洋	40	※
上 市	総 合	150	※
雄 山	普 通	80	
	生 活 文 化	40	※

学 校 名	学 科 名	募集定員	備 考
中央農業	生 物 生 産 (作物科学コース) (動物科学コース)	78	※
	園 芸 デ ザ イ ン (園芸福祉コース) (環境緑化コース)		
	バ イ オ 技 術 (生物工学コース) (食品加工コース)		
八 尾	普 通 (福祉コース)	160	(※)
富 山 西	普 通	160	
富 山	普 通	160	探究科学科
	理 数 科 学 人 文 社 会 科 学	80	
富 山 中 部	普 通	160	探究科学科
	理 数 科 学 人 文 社 会 科 学	80	
富 山 北 部	普 通 (体育コース)	120 (約40)	(※ 定員の内数)
	く す り ・ バ イ オ 情 報 デ ザ イ ン	80 40	※ ※
	機 械 工 学	80	※
	電 子 機 械 工 学	40	※
富 山 工 業	金 属 工 学	40	※
	電 気 工 学	80	※
	建 築 工 学	40	※
	土 木 工 学	40	※
富 山 商 業	流 通 ビ ジ ネ ス	80	※
	ビ ジ ネ ス マ ネ ジ ム ン ト	40	※
	会 計 ビ ジ ネ ス	40	※
	情 報 ビ ジ ネ ス	80	※
富 山 い ず み	総 合	150	※
	看 護	40	※
富 山 東	普 通 (自然科学コース)	240 (約40)	(※ 定員の内数)
富 山 南	普 通 (国際コース)	200	(※)
呉 羽	普 通 (音楽コース)	230 (約30)	(※ 定員の内数)

学校名	学科名	募集定員	備考
小 杉	総 合	160	※
大 門	普 通 (情報コース)	120	(※)
新 湊	普 通 商 業	120 40	※
高 岡	普 通 理 数 科 学 人 文 社 会 科 学	160 80	探究科学科
高岡工芸	機 械	40	※
	電 子 機 械	40	※
	電 気	40	※
	建 築	40	※
	土 木 環 境 (土木工学コース) (環境化学コース)	40	※
	工 芸 デザイン・絵画	30 40	※ ※
高岡商業	流通ビジネス	80	※
	国際ビジネス	40	※
	会計ビジネス	40	※
	情報ビジネス	40	※
伏 木	国 際 交 流 (中国語コース) (韓国語コース) (ロシア語コース)	120	※
高 岡 南	普 通 (人文科学コース)	160	(※)
福 岡	普 通 (英語コース)	120	(※)
氷 見	普 通	80	※
	農 業 科 学	(20)	※
	海 洋 科 学	(20)	※
	ビ ジ ネ ス	40	※
	生 活 福 祉	40	※

学校名	学科名	募集定員	備考
砺 波	普 通	160	
砺波工業	機 械 電 気 電 子	80	※
		40	※
		40	※
南砺福野	普 通 国 際 農 業 環 境 福 祉	160	※
		30	※
		30	※
南 砺 平	普 通	30	
石 動	普 通 商 業	120	
		40	※
合 計		6,188	

- (注1) 桜井高等学校普通科については、募集定員のうち、5名を帰国生徒の受け入れ枠とする。
- (注2) 備考欄の※は推薦入学者選抜の対象学科・コースを示す。
- (注3) 募集定員の記載がないコースは、2年次に開設されるものである。

学科等区分	普通	普通系専門学科		職業系専門学科							総合	合計	対前年度増減
		理数科学 人文社会科学	国際	農業	水産	工業	商業	家庭	看護	福祉			
学級数	82	6	4	6	2	26	16	3	1	1	12	159	- 5
募集定員	3,260	240	150	158	60	1,030	640	120	40	30	460	6,188	- 190

※ 氷見高等学校の農業科学科と海洋科学科は、農業と水産のそれぞれに1学級として集計

※ 探究科学科は、理数科学科と人文社会科学科の2学科の総称

令和5年度富山県立高等学校定時制の課程
第1学年募集定員

学 校 名	学 科 名	募集定員	備 考
新 川 みどり野	普 通 福 祉 教 養	約120	} 単位制
		約40	
富山工業	機 械 電 気 生 産 機 械	約40	
		約40	
		約40	
雄 峰	普 通 総 合 ビジネス 生 活 文 化	約200	} 単位制
		約40	
		約40	
志 貴 野	普 通 国 際 教 養 総 合 ビジネス 生 活 文 化	約80	} 単位制
		約40	
		約80	
		約40	
小矢部園芸	園 芸	約40	単位制
と な み 野	普 通 総 合 福 祉	約80	} 単位制
		約40	
合 計		約960	

令和5年度富山県立高等学校通信制の課程
第1学年募集定員

学 校 名	学 科 名	募集定員	備 考
雄 峰	普 通 衛 生 看 護	} 約300	} 単位制
合 計		約300	

令和5年度富山県立高等学校専攻科
第1学年募集定員

学 校 名	学 科 名	募集定員	備 考
中 央 農 業	農 業 ・ 抱い手育成コース ・ 庭園コース	約10	
		約10	
富山いずみ	看 護	40	富山いずみ高校看護科 卒業者を対象とする。
雄 峰	生 活 科 学 ・ 調理師養成課程	60	
小矢部園芸	園 芸	約40	
合 計		約160	

令和5年度富山県立高等学校全日制の課程普通科通学区域

高 等 学 校 名	通 学 区 域
富山県立 入 善 高等学校 富山県立 桜 井 高等学校 富山県立 魚 津 高等学校 富山県立 滑 川 高等学校 富山県立 雄 山 高等学校	魚 津 市 滑 川 市 黒 部 市 下新川郡 中新川郡 富 山 市
富山県立 八 尾 高等学校 富山県立 富 山 西 高等学校 富山県立 富 山 高等学校 富山県立 富山中部 高等学校 富山県立 富山北部 高等学校 富山県立 富 山 東 高等学校 富山県立 富 山 南 高等学校 富山県立 呉 羽 高等学校	富 山 市 魚 津 市 滑 川 市 黒 部 市 下新川郡 中新川郡 高 岡 市 氷 見 市 射 水 市
富山県立 大 門 高等学校 富山県立 新 湊 高等学校 富山県立 高 岡 高等学校 富山県立 高 岡 南 高等学校 富山県立 福 岡 高等学校 富山県立 氷 見 高等学校	高 岡 市 氷 見 市 射 水 市 富 山 市 砺 波 市 小 矢 部 市 南 砺 市
富山県立 砺 波 高等学校 富山県立 南砺福野 高等学校 富山県立 南 砺 平 高等学校 富山県立 石 動 高等学校	砺 波 市 小 矢 部 市 南 砺 市 高 岡 市 氷 見 市 射 水 市

(注) 富山県立高等学校の全日制の課程に置く普通科以外の学科及び定時制の課程の通学区域は、県下一円とする。

令和5年度富山県立高等学校入学者選抜日程

項 目	期 間 等			
中学校学習成績等一覧表の提出	1月17日(火)まで			
県外海外区域外志願者の特別事情申請の受付	1月13日(金)午前9時～2月21日(火)正午 <small>(ただし、区域外からの推薦選抜志願の場合は、 1月20日(金)正午まで、県外海外からの推薦選抜志願の場合は、2月2日(木)正午までとする。)</small>			
全 日 制	推 薦 選 抜	志 願 期 間	2月3日(金)午前9時～2月7日(火)正午	
		志願者の中学校学習成績等一覧表の提出	2月8日(水)まで	
		面接等実施期日	2月13日(月)	
		合格内定の通知	2月15日(水) <small>(午前10時から正午までの間に通知書を 投函し、郵送する。)</small>	
		合格者の発表	3月16日(木)午後0時30分	
	一 般 選 抜	志 願 期 間	2月22日(水)午前9時～2月27日(月)正午	
		学力検査実施期日	3月8日(水)・3月9日(木)	
		追検査実施期日	3月13日(月)	
		合格者の発表	3月16日(木)午後0時30分	
	全日制第2次		志 願 期 間	3月17日(金)午前9時～3月20日(月)午後4時
		合格者の発表	3月23日(木)午後0時30分	
定 時 制	単 位 制 前 期	第1次	志 願 期 間	2月22日(水)午前9時～2月27日(月)正午
			検 査 実 施 期 日	3月8日(水) 3月9日(木) 面接予備日
			合格者の発表	3月16日(木)午後0時30分
		第2次	志 願 期 間	3月17日(金)午前9時～3月20日(月)午後4時
			検 査 実 施 期 日	3月23日(木)
			合格者の発表	3月27日(月)午後0時30分
	単 位 制 以 外	第1次	志 願 期 間	3月17日(金)午前9時～3月20日(月)午後4時
			検 査 実 施 期 日	3月23日(木)
			合格者の発表	3月27日(月)午後0時30分
		第2次	志 願 期 間	3月27日(月)午後1時～3月28日(火)午後4時
			検 査 実 施 期 日	3月23日(木)
			合格者の発表	3月27日(月)午後0時30分
通信制		志 願 期 間	3月17日(金)午前9時～3月20日(月)午後4時	
		検 査 実 施 期 日	3月23日(木)	
		合格者の発表	3月27日(月)午後0時30分	
通信制第2次		志 願 期 間	3月27日(月)午後1時～3月28日(火)午後4時	

(注)「定時制の課程の単位制以外」、「通信制の課程」の第2次検査実施日、及び「定時制の課程の単位制」で第2次選抜後に再度選抜を行う場合の検査実施日は、各高等学校長が定め、志願者に通知する。

項 目	期 間 等		
定 時 制	単 位 制 後 期	志 願 期 間	9月1日(金)午前9時～9月5日(火)正午
		検 査 実 施 期 日	9月12日(火)
		合格者の発表	9月14日(木)午後0時30分

富山県立高等学校入学者選抜に関する問い合わせ先

富山県教育委員会 県立学校課 高校教育係

〒930-8501 富山県富山市新総曲輪1番7号
電話 076-444-3450 (直通)
FAX 076-444-4437

県立学校課ホームページ

<https://www.pref.toyama.jp/3003/kensei/kenseiunei/kensei/soshiki/30/3003.html>

※ 富山県内の中学校及び市町村教育委員会からの問い合わせは、東部教育事務所、又は、西部教育事務所へお願いします。

